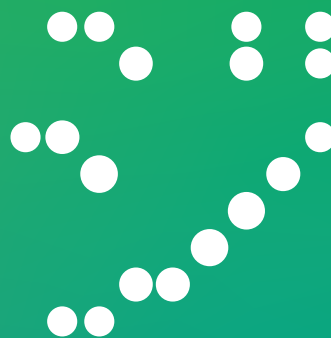
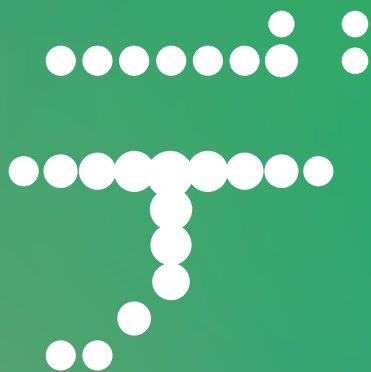
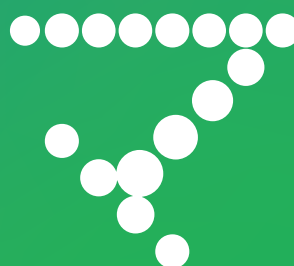


デジタル・人・自然が融合するまち、嘉麻。



嘉麻市デジタル推進計画

嘉麻市

嘉麻市からのメッセージ

目次

第1章 嘉麻市デジタル推進計画とは？

1. はじめに 3
2. 嘉麻市におけるデジタル推進 4
3. 計画の位置づけと期間 6
4. デジタルに関する嘉麻市のいま 8

第2章 計画が目指す方向

1. 目指すべき姿～わたしたちのビジョン～ 14
2. 計画の体系 16
3. 基本戦略～わたしたちのミッション～ 17
4. 実行計画～わたしたちのアクション～ 26

第3章 計画の推進

1. アクションプランについて 30
2. アクションプラン用語の定義 30
3. アクションカルテの見方 31
 - I. 暮らしのデジタル推進アクション 32
 - II. しごとでのデジタル推進アクション 46
 - III. ぎょうせいのデジタル推進アクション 52

第4章 推進の体制

1. 計画推進体制 66

第5章 参考情報

1. 用語解説 70
2. デジタルおさらいクイズ 73
3. 推進協議会メンバーからのメッセージ 74
4. 嘉麻市デジタル推進協議会条例 75
5. 嘉麻市デジタル推進協議会条例施行規則 76
6. 推進協議会委員 77
7. 推進協議会経緯 78
8. 参考情報 79

第1章 嘉麻市デジタル推進計画とは？

#カマデジ

デジタルという言葉を知ると、難しそうなイメージを持つかもしれませんが、しかし、大事なのはそれを一度に理解しようとするのではなく、一つ一つ小さなことから取り組んでいくことです。

デジタル技術は、複雑で難しいもののように思えますが、例えば、それは嘉麻市が持つ豊かな森全体を見ているだけで、その中の一本一本の木を見ていないからかもしれません。森全体を一度に理解しようとすると圧倒されてしまいますが、一本一本の木を見て、理解していけば、だんだんと全体像が見えてきます。

まずは身近なデジタル技術から始めてみませんか？スマートフォンやパソコンの基本操作から始め、それが自然と身についてきたら次のステップへと進む。そうやって少しずつデジタルの世界を探求していけば、不安だったものが楽しいものになっていきます。

そして、どんなに小さなステップでも、それが積み重なって大きな知識となり、デジタルの世界を理解する力になります。だからこそ、一步一步、小さなことからコツコツと取り組んでいくことが重要なのです。

カマデジ、はじまります！

カマデジの前に SNS 上でよく用いられる#(ハッシュタグ※)を使用した意味としては、以下の事象が本冊子を通して起こることを願い、つけられています。

1. 同じ目的・意識を持ったひとたちと繋がる（≡カマデジを産官学民一体となって進めていく）
 2. より広範囲のひとに本計画をリーチさせる（≡嘉麻市内はもちろん、他自治体や世界に発信していく）
- またこの記号はデジタルを示す象徴となり、より市民の皆様に関心を持ってもらうワードとなります。

※SNS 上において、キーワードやトピックを分類するタグのことです。「#」の後に任意のキーワードを入力することで、そのキーワードをタグとして投稿に加えられます。このハッシュタグによって、投稿が何のトピックについて書かれたものなのかを端的に表せられることが特徴です。

1. はじめに

デジタル推進計画。なかなか馴染みのない言葉かもしれませんが。そこで私たちは、本市に関係するすべての人に分かりやすい、どのようにデジタル技術を用いて本市をより良いまちにしていくかという計画を策定することにしました。

昨今、少子高齢化や物価高、新型コロナウイルスなど、社会情勢が日々変化しており、私たちの暮らしにも様々な不安が出てきています。

本市においても人口減少や少子高齢化は全国の平均を上回るスピードで推移しており、地域の担い手不足がますます深刻なものとなっています。また、本市に対するニーズもますます高度化・多様化してきており、限られた財源の中で質の高い行政サービスを提供する必要があるため、多様な先進技術を活用するなど、市民の利便性向上と業務効率化等を図っていく必要があります。これらの取組は行政だけでなく、民間企業や地域、教育機関等あらゆる主体と一体となって取り組む必要があります。大きな変革が求められています。また、新型コロナウイルス感染症により、私たちは生活の中で人との接触を回避するための行動、働き方等の大きな変化を強いられることとなりました。この結果、テレワーク、オンライン会議、こどもたちのオンライン授業、キャッシュレス決済など、社会経済活動の中でデジタル技術を使った「新しい日常」の構築が不可欠となっています。本市においても、そういった不安や問題がある中、市民の暮らしや活動を守り育てていくことが大切です。

そのような背景の中で、国として、「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」（令和2年12月25日閣議決定）を公表し、「単なる新しい情報通信技術（ICT）の導入ではなく、制度や政策、組織の在り方等を新技術に合わせて変革し、地域における様々な課題の解決や社会経済活動の発展を促していくこと」がデジタル・トランスフォーメーション（以下、DX）であり、デジタル技術の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させ、デジタル技術とビッグデータの活用によって社会・産業・生活のあり方を根本から変革する手段として注目されています。

そこで本市においても市制20年を目前とする中でデジタル推進計画が市民に寄り添い、様々な新しいことが起こり、このまちがより良いまちとなるような計画を策定することにしました。



2. 嘉麻市におけるデジタル推進

1. デジタル推進の背景と目的

本市では、平成29年3月に「第2次嘉麻市総合計画」を策定し、「いきたい 住みたい つながりたい遠賀川源流のまち嘉麻～みんなで創る“誇れるふるさと” “未来のふるさと”～」の実現に向け様々な施策に取り組んでいます。令和4年9月には「第2次嘉麻市総合計画 後期基本計画」を策定し、持続可能な開発目標（SDGs）や新型コロナウイルス感染症の影響、自然災害の激甚化などの社会情勢の変化を踏まえ、地域コミュニティの活性化やデジタル社会の進展などを新たな取組として掲げました。

また、本市は、福岡県の中央に位置し、古くから受け継がれてきた豊かな自然や伝統、歴史、文化といった数多くの誇るべき資産があります。これらの強みをデジタル技術の活用を通してさらに魅力あるものにする事で、市民にとって「誇れるまち」となり、市内外の人にとって「行きたい、住みたいまち」となり、「持続可能な未来のふるさと」となることを目指します。これらを実現するためにためには、市全体でデジタル技術を積極的に活用し、市民一人ひとりがデジタルによる変革を起こそうと取り組むことが重要です。そして、「**誰一人取り残されない**」理念を基礎に、デジタルを推進するための3つの基本的な考え方を掲げ、「**デジタル・人・自然が融合するまち、嘉麻。**」を実現することを目標とします。

これらの考え方は、計画を推進していくうえでの一番基本的な考えとなり、未来への道標（みちしるべ）となります。

1 デジタル技術による最適化や情報の高度利用により、
嘉麻市の資源をさらに魅力あるものにする事。

2 デジタル技術による効率化により住みやすく、
持続可能なまちにする事。

3 デジタル技術による広域連携や情報発信により、
市内外にとって嘉麻市を誇れるまちにする事。



II. 計画の意義

昨今、社会情勢の変化や少子高齢化による地域の担い手不足、物価高や社会的不安による多様化する住民ニーズなどが社会課題として挙げられています。それらの課題を解決するために、デジタル技術の浸透によって人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させ、デジタル技術やビッグデータなどの活用によって社会・産業・生活のあり方を根本から変革（トランスフォーメーション）することが求められています。

これらの背景を踏まえ、国では、令和2年に「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」を公表し、令和3年6月に「デジタル社会の実現に向けた重点計画」が閣議決定され、目指すべきデジタル社会の実現に向けた施策が示されました。そして令和4（2022）年9月には「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画【第2.0版】」により自治体が重点的に取り組むべき事項・内容が示されました。

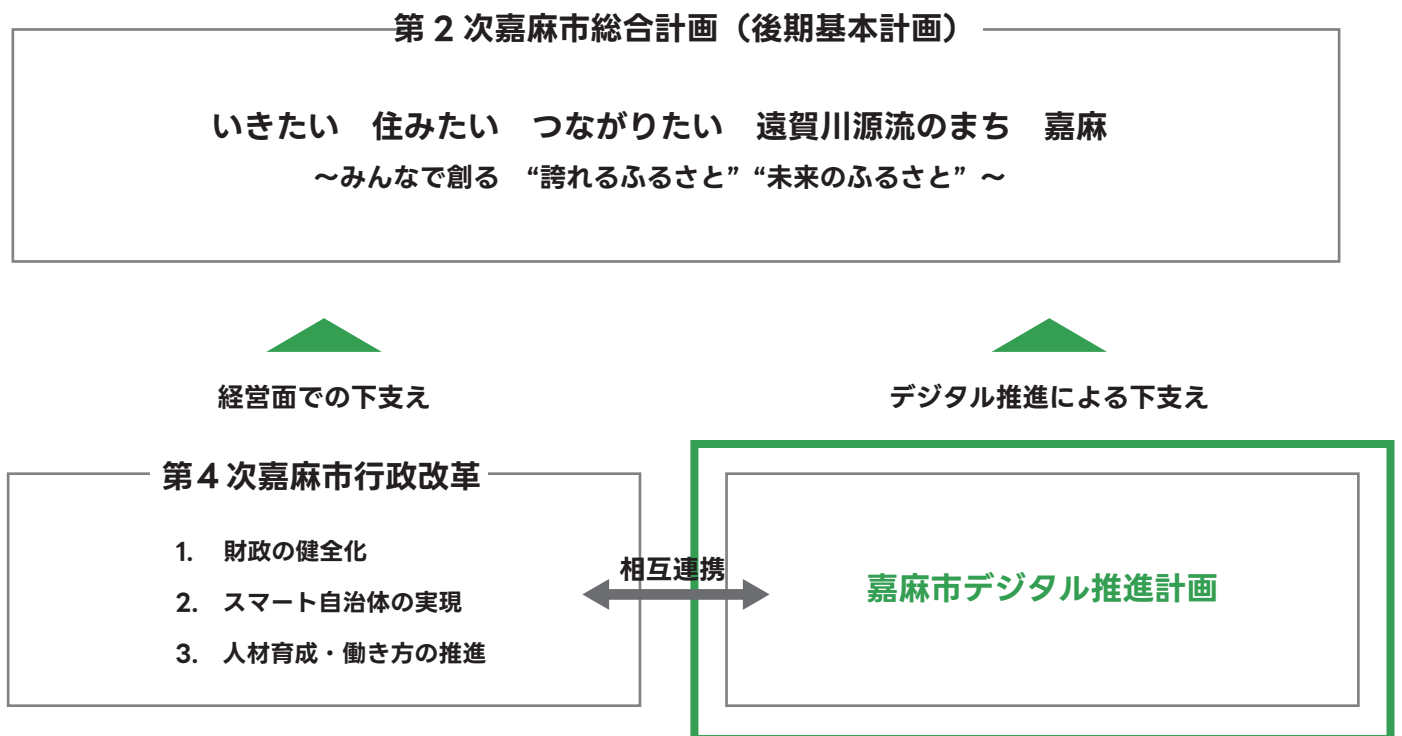
また、福岡県では、誰もが安心して、たくさんの笑顔で暮らしていける福岡県をつくることを目標として令和3（2021）年度に「福岡県DX戦略」が策定されました。

本市においては、平成26年12月に「嘉麻市地域情報化推進計画」を策定し、早くから情報化に取り組んできました。上記の社会ニーズや国、県の動向をうけ、地域の情報化を進める計画から、デジタル推進によって市民の生活利便性が向上し、市の魅力向上や地域活性化がもたらされる、より良い嘉麻市にしていくための計画として「嘉麻市デジタル推進計画」を作ることになりました。本計画は嘉麻市DX推進本部や市民の代表で組織された嘉麻市デジタル推進協議会で話し合いながら、市民の皆さんとデジタル活用による様々な「目標」をかかげたアクションプランも明記しています。そのため、本計画には小さなことも一步一步、産学官民が一体となって進めていくために目標を掲げたアクションプランも明記しています。計画が大事なのではなく、実践（アクション）を大切にしていけることが重要と考えています。

3. 計画の位置づけと期間

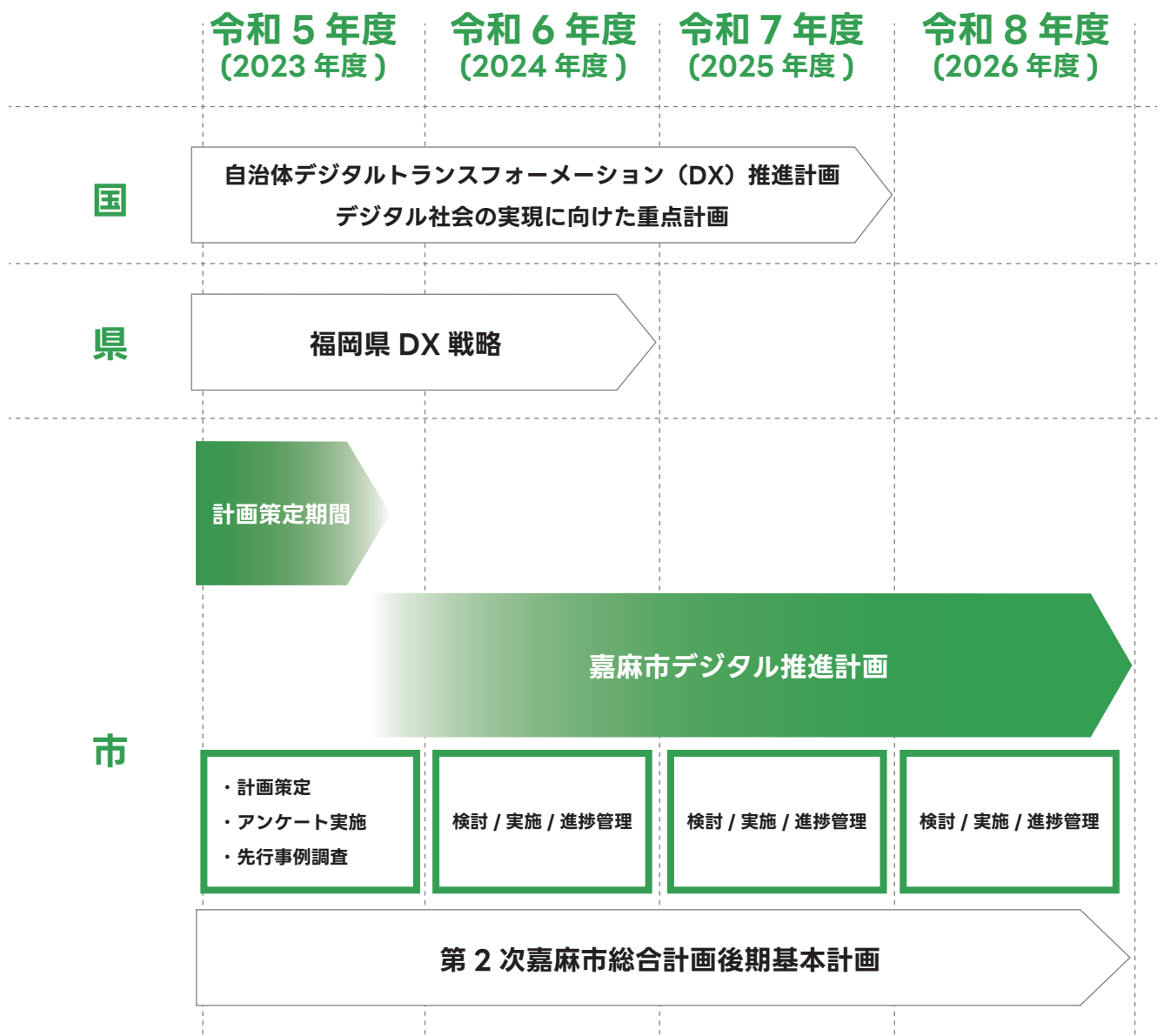
1. 位置づけ

本計画は、「第2次嘉麻市総合計画（後期基本計画）」の施策を体現するためにデジタルの面から支える計画であり、本市におけるデジタル推進のベースとなるものです。「第2次嘉麻市総合計画」に掲げている施策をデジタル推進によって加速させ、経営面から支えている第4次嘉麻市行政改革などの関連政策と整合性を図りながら「いきたい 住みたい つながりたい 遠賀川源流のまち 嘉麻～みんなで創る “誇れるふるさと” “未来のふるさと” ～」の実現を目指します。



II. 推進期間

本計画は令和5年度から令和8年度までの約3ヵ年とします。ただし、デジタル技術は発展が著しいことから、毎年度アクションプランの検討・見直しを実施するものとします。具体的な実施内容及びスケジュール等に関しては、国の政策や情報通信技術の動向を踏まえ、原則として毎年度見直しを行います。



4. デジタルに関する嘉麻市のいま

(令和5年市民アンケート結果より)

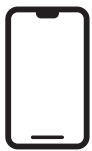
アンケートやパブリックコメントによって得られた市民の意見の結果をもとに、ニーズを把握し、デジタル推進計画のビジョンやアクションプランの検討を行いました。

1. アンケート結果

令和5年8月1日から8月20日の期間で、デジタル推進計画の取組の検討に必要な意見や基礎的なデータを把握するために18歳以上の方の中から無作為に3,000人に対してアンケートを実施しました。

数字で見る嘉麻市のデジタル化の現状

スマートフォン
普及率



83%

パソコン
普及率



37%

タブレット
普及率



17%

インターネット
毎日利用率



57%

デジタル技術を利用した地域づくりの認知率

デマンドバス
認知率



11%

市関係料金
一部キャッシュレス化
利用率



15%

資料の
ペーパーレス化
認知率



33%

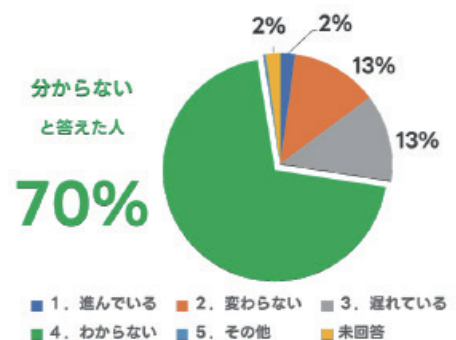
コンビニでの
諸証明の交付
利用率



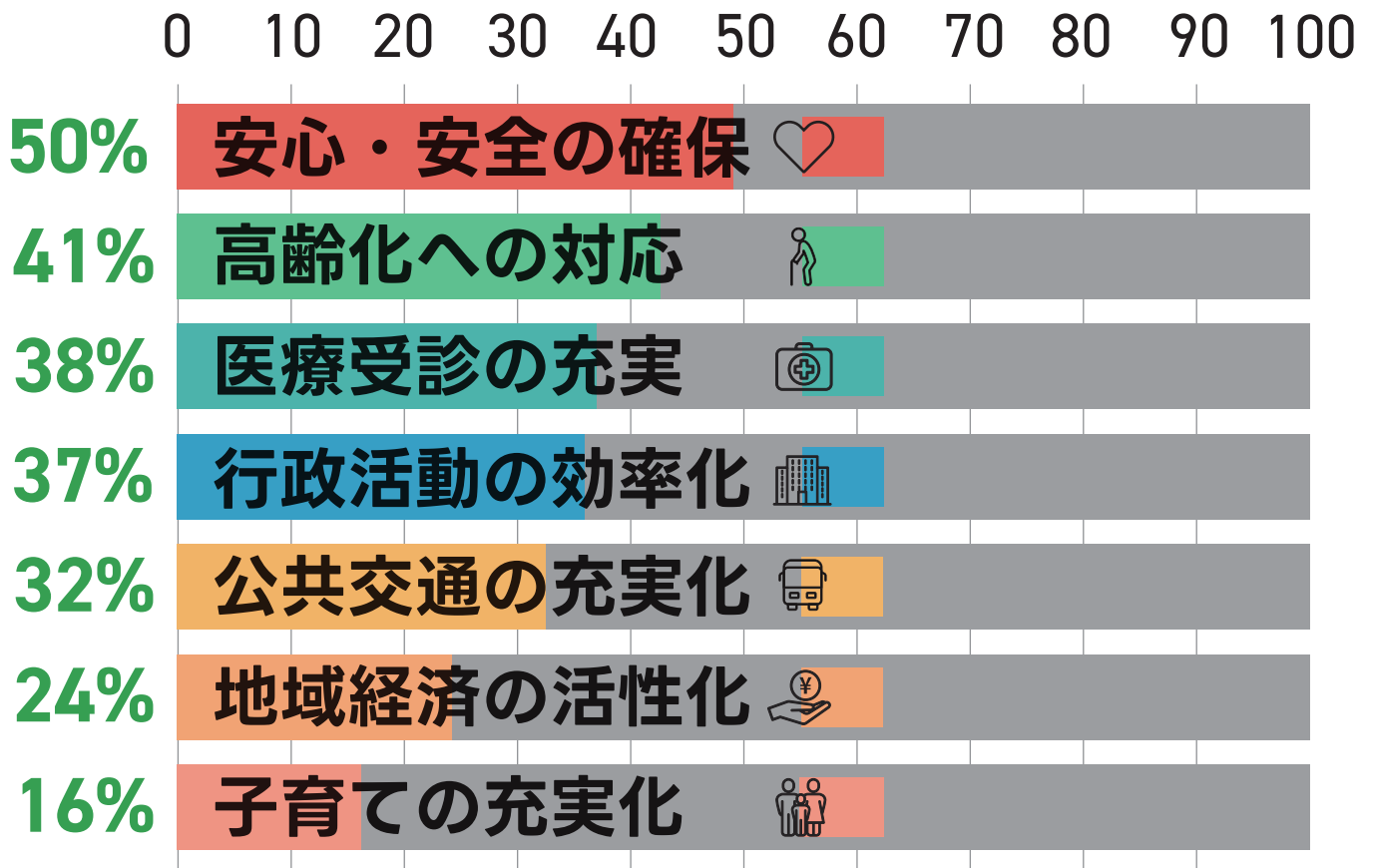
9%

数字で見る嘉麻市のデジタル化の現状

本市のデジタル推進についてはアンケート回答者の70%の方が分からないという結果となりました。今後、この結果を改善して行くために計画の策定・アクションプランを実行してまいります。

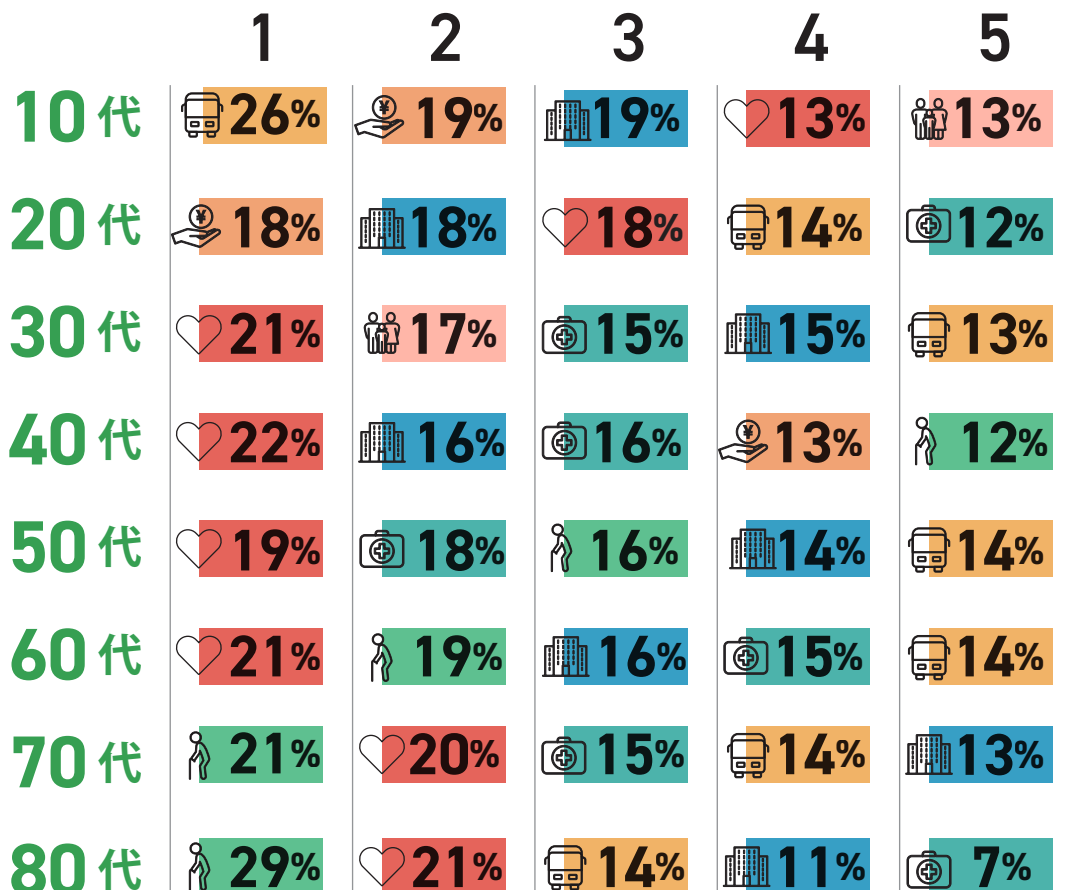


デジタル技術の利用で実現してほしいもの※



※アンケート回答者数 1308（一人3つまで回答してもらった集計結果）

年代別のニーズ※



※アンケート回答者数 1308（一人3つまで回答してもらった集計結果）

II. 市民の声

実施したアンケートの自由記述欄には回答者 1308 人の内 **281** 人の方からご意見を頂きました。頂いたご意見を参考にしながら、本計画の検討を行いました。





マイナンバーカードを作ったけれど
今、不祥事が多いので不安です。
しばらく使用したくありません。

70代女性

市役所のデジタル化が市民サービスの質の
向上につながるのかが気になります。
市民へのサポートの手段の一つとして
デジタル化を進めるということ
改めてお考えいただけたらと思います。

50代女性

市役所での手続きの情報を、
ネットで一覧できるようにして欲しい。
役所内をあちこち行くのが疲れる。

50代女性

市民の為のデジタル推進になれば良いが、
デジタル推進ありきで事を進めては、
市民の為にはならないと思う。

50代男性

デジタル推進でどう便利になるのか、
あまり良くわからない方が大半だと思います。
高齢者にわかるような説明、
特に利便性のPRが大事かと思っています。

性

嘉麻市のデジタル推進の
内容等、市民全体へ周知できる
ようにしてほしい。

50代男性

市役所での手続きの情報を、
ネットで一覧できるようにして欲しい。
役所内をあちこち行くのが疲れる。

50代女性

デマンドバスの利用方法が
高齢者には難しいです。
旧市町単位の乗り継ぎは、
若年者には理解できなと感じました。

40代男性

デジタル推進は田舎ほど効果が
期待できると思うので、
嘉麻市ならではのデジタル
推進を期待しております。

60代男性

デジタル推進は今後必要とは思いますが、
高齢者の多い市町村の場合、
誰でも簡単に利用できることを念頭に
サービス等を考えて欲しいと思います。

50代女性

通院、買い物等移動手段が
便利になればと思います。

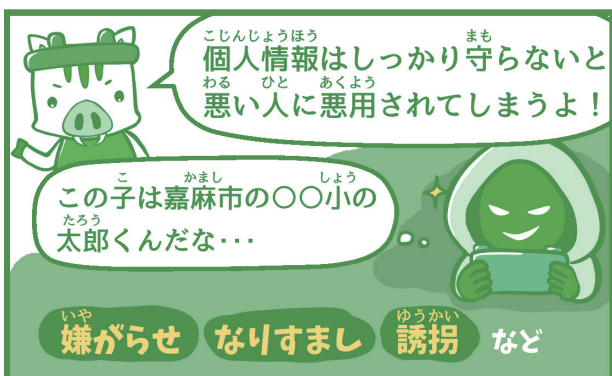
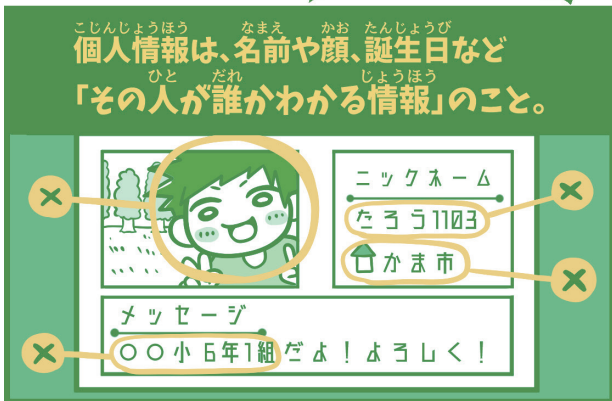
60代女性

かましちゃん🐻 が10人いるよ。探してみよう！

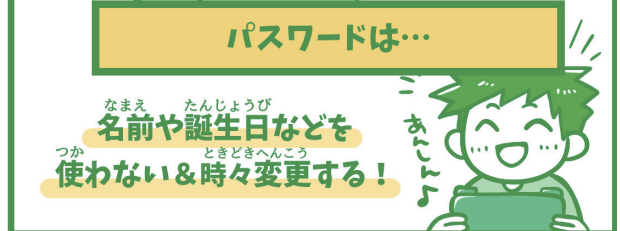
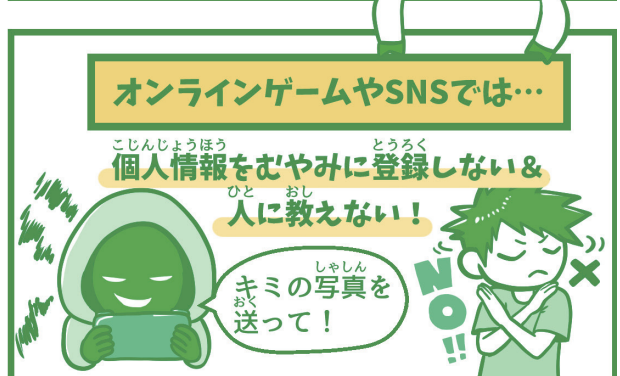
コラム | COLUMN 01

みんなで守ろう！^{まも}個人情報^{こじん じょうほう}の安全^{あんぜん}

1. 個人情報^{こじんじょうほう}ってどんなもの？



2. 個人情報^{こじんじょうほう}を守るには^{まも}



第2章 計画が目指す方向

1. 目指すべき姿～わたしたちのビジョン～

嘉麻市デジタル推進計画目指すべき姿として、本市の誇るべき、豊かな自然や伝統、歴史、文化といった数多くの誇るべき資産があります。これらの強みをデジタル技術の活用を通してさらに魅力のあるものにするを念頭におき、本市だからこそできるデジタル推進のかたちをイメージしています。また、嘉麻市における4つのエリア（山田、稲築、碓井、嘉穂）をデジタル技術の活用によって一つとなり、さらにより良いまちになるように願いが込められています。

デジタル・人・自然が



融合するまち、嘉麻。



2. 計画の体系

嘉麻市デジタル推進計画の全体像は市民アンケートやパブリックコメント、嘉麻市デジタル推進協議会などでいただいた意見をもとに構成され、以下の図で表すことができます。

嘉麻市デジタル推進計画の目指すべき姿を実現するために、「暮らし」、「しごと」、「ぎょうせい」の3つをテーマとして、市民、事業者、活動を起こしている人、来街者など本市に関係するすべての人にやさしいデジタル推進の3本の柱を掲げます。その上で、重点施策・アクションを以下のとおり定めています。また、これらの重点施策、アクションは個別の視点のみで取り組むのではなく、適宜、戦略間の融合・連携を視野に入れ、より大きな成果を創出できるよう推進していきます。

デジタル・人・自然が融合するまち、嘉麻。

人にやさしいデジタル推進 3本の柱



重点施策・アクション

- ・ 利用機会等の格差への対応
(デジタルデバйд対策)
- ・ 子育てと市民の健康を支える
デジタル技術の適用
- ・ SNS等を利用した社会的つながりの確保

- ・ 民間事業者の働き方改革の支援
- ・ 市内事業者のしごとを応援するサービスの充実

- ・ 安心安全な市民生活に向けたデジタル推進
- ・ 庁内業務改善による市民サービスの向上
- ・ 情報発信の充実

3. 基本戦略 ～わたしたちのミッション～

目指すべき姿を達成するために「暮らし」、「しごと」、「ぎょうせい」の3つの柱ごとに組み組みアクションプランを設定します。これらのアクション達成を目指して、デジタル推進を行っていきます。

I. 暮らしのデジタル推進

- ・ 利用機会等の格差への対応（デジタルデバイド対策）
- ・ 子育てと市民の健康を支えるデジタル技術の適用
- ・ SNS 等を利用した社会的つながりの確保

II. しごとのデジタル推進

- ・ 民間事業者の働き方改革の支援
- ・ 市内事業者のしごとを応援するサービスの充実

III. ぎょうせいのデジタル推進

- ・ 安心安全な市民生活に向けたデジタル推進
- ・ 庁内業務改善による市民サービスの向上
- ・ 情報発信の充実

1. 暮らしのデジタル推進

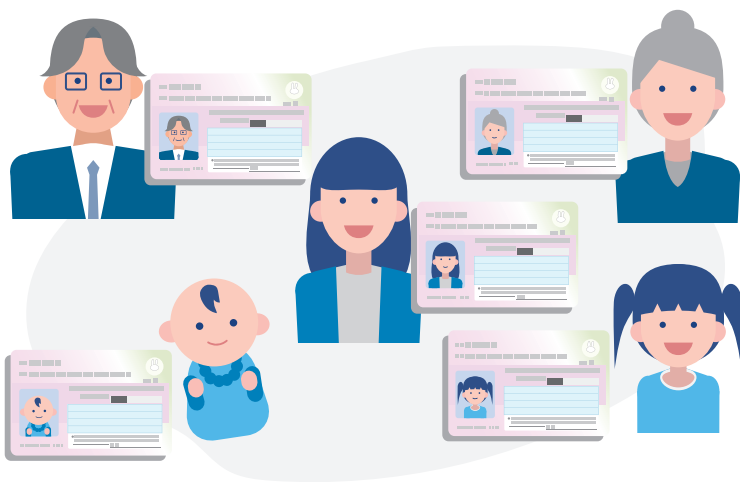
1. 利用機会等の格差（デジタルデバイド）への対応

市民サービスの向上やインターネットやPCなどのICT（情報通信技術）を活用できる人とできない人の間に生まれる格差を減らします。

【取り組むこと】

- カルテ No.1. デジタル技術の啓発
- カルテ No.2. マイナンバーカードの普及促進
- カルテ No.3. マイナンバーカードの利活用促進
- カルテ No.4. 公共施設ネットワーク設備の推進
- カルテ No.5. スマホ教室の継続的な開催
- カルテ No.6. インターネット利用機会の向上
- カルテ No.7. 地域へのデジタルツールの普及促進
- カルテ No.8. 市民のスマホ保有率向上推進

*カルテナンバーはアクションプランの冊子の番号に紐づいています。



1. くらしのデジタル推進

2. 子育てや市民の健康を支えるデジタル技術の活用

子育てをより快適に、そして、市民の健康を支えるためのデジタル技術の推進を行います。

【取り組むこと】

- カルテ No.9. 保育施設等に保育支援システム導入推進
- カルテ No.10. くらしの各種手続きのオンライン化拡充
- カルテ No.11. 未来を担うこどものためのデジタル教育実施
- カルテ No.12. デジタルを利用したこどもや高齢者の見守り検討
- カルテ No.13. 本庁と支所のオンライン化拡充
- カルテ No.14. デジタルを活用した英語によるコミュニケーション能力の向上
- カルテ No.15. 子育て世代の連絡ツール活用推進
- カルテ No.16. デマンドバスアプリの利用促進
- カルテ No.17. デジタルを使った市内経済の活性化推進
- カルテ No.18. 市が主催するイベント、講座等申し込みのオンライン化拡充
- カルテ No.19. 施設等予約申し込みのオンライン化推進

*カルテナンバーはアクションプランの冊子の番号に紐づいています。



1. 暮らしのデジタル推進

3. SNS等を活用した社会的つながりの確保

HPやSNSの活用によってデジタルを用いた社会的なつながりを確保します。

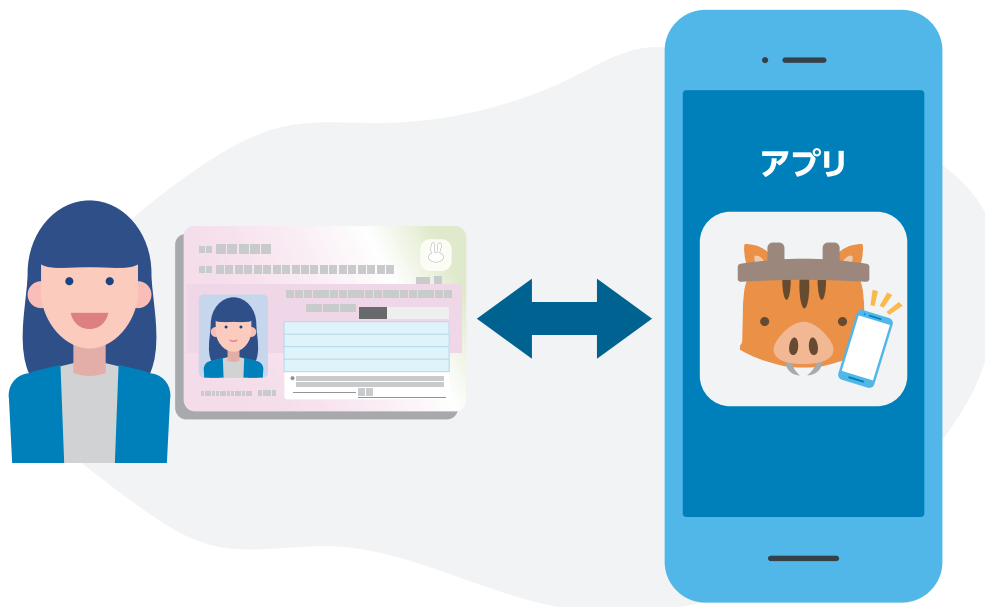
【取り組むこと】

カルテ No.20. ごみ収集日等の行政情報のオンライン通知拡充

カルテ No.21. オンラインによる買い物支援促進

カルテ No.22. オンラインによる市民からの情報収集推進

*カルテナンバーはアクションプランの冊子の番号に紐づいています。



II. しごとのデジタル推進

1. 民間事業者の働き方の支援

事業者にデジタル技術を浸透させることで、移動による時間のロスなどの削減やコスト削減等の業務効率化を推進します。

【取り組むこと】

- カルテ No.23. 事業者とのオンライン会議の普及促進
- カルテ No.24. 市内のどこでも仕事ができる環境整備の推進
- カルテ No.25. 事業者向けの各種手続きのオンライン化推進
- カルテ No.26. 公共事業発注のオンライン化推進

*カルテナンバーはアクションプランの冊子の番号に紐づいています。



II. しごとのデジタル推進

2. 市内事業者のしごとを応援するサービスの充実

デジタル技術を用いてどこでも働ける環境と体制を構築することによって、働き手の不足や新たな雇用創出を推進します。

【取り組むこと】

- カルテ No.27. デジタルによる地図情報の積極的な公開拡充
- カルテ No.28. IT 事業者との協働による地域デジタル化推進
- カルテ No.29. 農林振興に関する行政情報のデジタル化推進
- カルテ No.30. DX を推進する市内事業者の活動を支援

*カルテナンバーはアクションプランの冊子の番号に紐づいています。



III. ぎょうせいのデジタル推進

1. 安心安全な市民生活に向けたデジタル推進

デジタル技術を用いてより安心安全に暮らせる仕組みづくりを検討します。

【取り組むこと】

- カルテ No.31. 災害に強い情報管理体制構築の検討
- カルテ No.32. 避難所空き情報などの防災情報を迅速に配信
- カルテ No.33. デジタル推進に伴うセキュリティの向上
- カルテ No.34. 職員の情報リテラシー向上
- カルテ No.35. 行政手続きの電子申請を推進するための関係例規整備



III. ぎょうせいのデジタル推進

2. 庁内業務の改善による市民サービスの向上

庁内業務を改善することで、市が提供する市民サービスの改善や本質的な業務に取り組み、市民サービスの向上を図ります。

【取り組むこと】

- カルテ No.36. 行政事務にデジタル技術を活用
- カルテ No.37. オンライン、テレワーク等、職員の多様な働き方を拡大
- カルテ No.38. 市民から寄せられる事案の一元管理を推進
- カルテ No.39. システム標準化を推進
- カルテ No.40. 文書の電子化による保管文書削減
- カルテ No.41. 生成 AI の利活用促進
- カルテ No.42. 市役所窓口のデジタル化拡充
- カルテ No.43. 行政サービス品質向上のための電話対応の録音、チャット等の利活用検討
- カルテ No.44. 行政事務の各種手続きのオンライン化推進
- カルテ No.45. 庁内決裁の電子化推進
- カルテ No.46. デジタル推進計画・アクションプランの進捗管理実施



III. ぎょうせいのデジタル推進

3. 情報発信の充実

情報発信の仕方や市の HP を見直すことによって、市民や来街者がより、本市に関心を持ち、親しむことができるようにします。

【取り組むこと】

- カルテ No.47. 嘉麻市公式 YouTube による行政情報の周知・啓発推進
- カルテ No.48. 嘉麻市公式 HP・SNS 等による効果的な行政情報発信の拡充
- カルテ No.49. 行政情報発信の集約、一元化の推進
- カルテ No.50. オープンデータの積極的な公開推進



4. 実行計画～わたしたちのアクション～

「くらし」「しごと」「ぎょうせい」の3つの柱に掲げた基本戦略は、解決すべきこと、実現すべきことをアクションプランとして目標設定をします。ひとつひとつが実現できるように取り組んでいきます。

ビジョンを達成する50のアクション

くらしのデジタル推進

・利用機会等の格差への対応（デジタルデバイド対策）

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 デジタル技術の啓発 | 5 スマホ教室の継続的な開催 |
| 2 マイナンバーカードの普及促進 | 6 インターネット利用機会の向上 |
| 3 マイナンバーカードの利活用促進 | 7 地域へのデジタルツールの普及促進 |
| 4 公共施設ネットワーク設備の推進 | 8 市民のスマホ保有率向上推進 |

・子育てと市民の健康を支えるデジタル技術の活用

- | | |
|---------------------------------|-------------------------------|
| 9 保育施設等に保育支援システム導入推進 | 15 子育て世代の連絡ツール活用推進 |
| 10 くらしの手続きのオンライン化拡充 | 16 デマンドバスアプリの利用促進 |
| 11 未来を担うこどものためのデジタル教育実施 | 17 デジタルを使った市内経済の活性化推進 |
| 12 デジタルを利用したこどもや高齢者の見守り検討 | 18 市が主催するイベント、講座等申し込みのオンライン拡充 |
| 13 本庁と支所のオンライン化拡充 | 19 施設等予約申し込みのオンライン化推進 |
| 14 デジタルを活用した英語によるコミュニケーション能力の向上 | |

・SNS等を活用した社会的つながりの確保

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 20 ごみ収集日等の行政情報のオンライン通知拡充 | 22 オンラインによる市民からの情報収集推進 |
| 21 オンラインによる買い物支援促進 | |

しごとのデジタル推進

・民間事業者の働き方改革の推進

- | |
|-------------------------|
| 23 事業者とのオンライン会議の普及促進 |
| 24 市内のどこでも仕事ができる環境整備の推進 |

・市民事業者のしごとを応援

- | |
|--------------------------|
| 27 デジタルによる地図情報の積極的な公開拡充 |
| 28 IT事業者との協働による地域デジタル化推進 |

デジタル推進

推進

25 事業者向けの各種手続きの
オンライン推進26 公共事業発注の
オンライン化推進

提供するサービスの充実

29 農林振興に関する行政情報の
デジタル化推進30 DXを推進する市内事業者の
活動を支援

ぎょうせいのデジタル推進

・ 安心安全な市民生活に向けたデジタル推進

31 災害に強い情報管理体制
構築の検討

34 職員の情報リテラシー向上

32 避難所空き情報などの
防災情報を迅速に配信35 行政手続きの電子申請を
推進するための関係例規整備33 デジタル推進に伴う
セキュリティの向上

・ 庁内業務改善による市民サービス向上

36 行政事務に
デジタル技術を活用

42 市役所窓口のデジタル化拡充

37 オンライン、テレワーク等
職員の多様な働き方を拡大43 行政サービスの品質向上のための
電話対応の録音、チャット等の利活用検討38 市民から寄せられる事案の
一元管理を推進44 行政事務の各種手続きの
オンライン化推進

39 システム標準化を推進

45 庁内決裁の電子化推進

40 文書の電子化による
保管文書削減46 デジタル推進計画・
アクションプランの進捗管理実施

41 生成AIの利活用促進

・ 情報発信の充実

47 嘉麻市公式YouTubeによる
行政情報の周知・啓発推進49 行政情報発信の集約、
一元化の推進48 嘉麻市公式HP・SNS等による
効果的な行政情報発信の拡充50 オープンデータの積極的な
公開推進

意外と知らない？ デマンドバス！

3. デマンドバスって？



4. デマンドバスの^{ちゅういてん}注意点



第3章 計画の推進

1. アクションプランについて

本アクションプランは、2章の3のⅠ～Ⅲ 基本戦略～わたしたちのミッション～（P18～）で掲げた1つ1つのことに対して、「何を目指し、いつまでに、誰が、どうアクション（実践）していくのか」を明らかにしたもので、カルテ形式でわかりやすく示しています。

各カルテの目標は、そのアクションを一步一步進めていくための目標になっていますが、最終的には市民の生活の質の向上、豊かな嘉麻市を目指すものです。そのため、一定期間で適宜見直していくことも可能な構成にしています。

2. アクションプラン用語の定義

アクションカルテでは、少し堅い「検討」「拡充」といった言葉が出てきます。少し難しい言葉の説明を以下に示します。

（また、カタカナ文字、アルファベット表記のわかりにくい言葉は、P.72～の用語集にも説明をしていますのでどうぞご覧ください）

【検討】

事業内容、予算規模等を勘案し、慎重に事業是非について協議を行います。

※検討：物事をよく調べて考えること。種々の面から調べて、良いか悪いかを考えること。

【推進】【拡充】【促進】

事業内容を詳細に精査し、進めていきます。

※推進：物を前へおし進めること。

※拡充：十分におしひろめること。組織や施設を拡張、充実させること。

※促進：物事がはやく分かるようにうながすこと

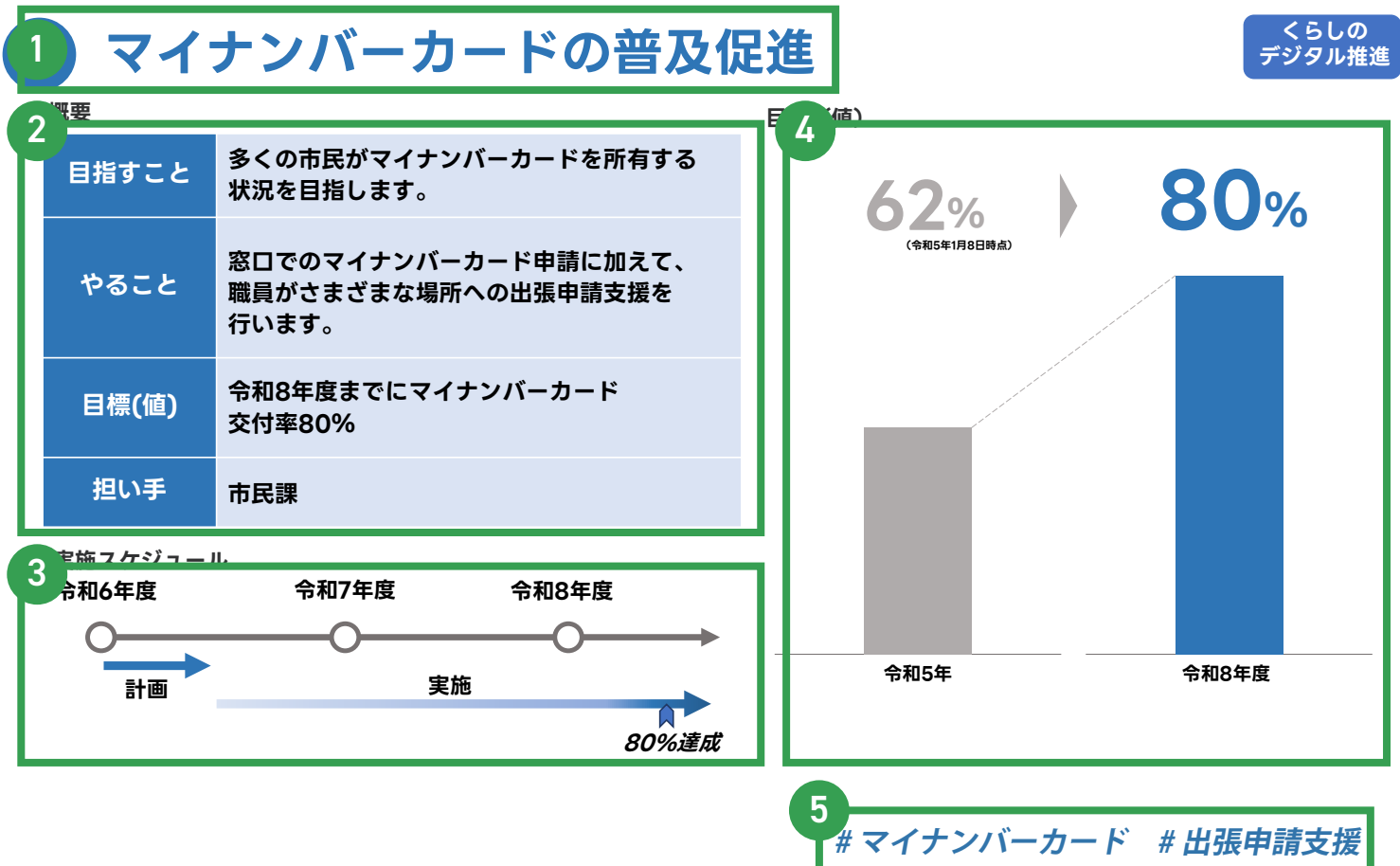
【継続】

同様の内容で実施していきます。

※継続：前から行っていることをそのまま続けること。

3. アクションカルテの見方

各アクションは「何を指すのかを分かりやすく示したタイトル」、「目指すこと、やること、目標（値）、担い手を記したアクションの概要」、「計画期間と実行期間を示した工程」、そして「具体的にどのくらい何を行うのかを数字やイメージで示したもの」を掲載しており、読み進めることでアクションプランの全体像を把握できるような構成としています。





くらしのデジタル推進アクション

行政手続きのオンライン化やマイナンバーカードの普及促進などにより市民生活を充実させ、市民一人ひとりがより「住みたい」と思える嘉麻市を実現することを目指します。

くらしのデジタル推進アクション一覧

- カルテ No.1. デジタル技術の啓発
- カルテ No.2. マイナンバーカードの普及促進
- カルテ No.3. マイナンバーカードの利活用促進
- カルテ No.4. 公共施設ネットワーク設備の推進
- カルテ No.5. スマホ教室の継続的な開催
- カルテ No.6. インターネット利用機会の向上
- カルテ No.7. 地域へのデジタルツールの普及促進
- カルテ No.8. 市民のスマホ保有率向上推進
- カルテ No.9. 保育施設等に保育支援システム導入推進
- カルテ No.10. くらしの各種手続きのオンライン化拡充
- カルテ No.11. 未来を担うこどものためのデジタル教育実施
- カルテ No.12. デジタルを利用したこどもや高齢者の見守り検討
- カルテ No.13. 本庁と支所のオンライン化拡充
- カルテ No.14. デジタルを活用した英語によるコミュニケーション能力の向上
- カルテ No.15. 子育て世代の連絡ツール活用推進
- カルテ No.16. デマンドバスアプリの利用促進
- カルテ No.17. デジタルを使った市内経済の活性化推進
- カルテ No.18. 市が主催するイベント、講座等申し込みのオンライン化拡充
- カルテ No.19. 施設等予約申し込みのオンライン化推進
- カルテ No.20. ごみ収集日等の行政情報のオンライン通知拡充
- カルテ No.21. オンラインによる買い物支援促進
- カルテ No.22. オンラインによる市民からの情報収集推進

1 デジタル技術の啓発

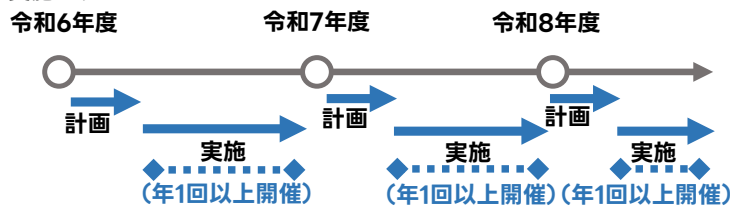
概要

目指すこと	全市民のデジタル技術の利活用技術向上を目指します。
やること	こどもから高齢者までのすべての市民がデジタル技術を身近に感じ利用できるよう、デジタル技術の展示や体験ができるイベント等を実施します。
目標(値)	デジタルに関するイベント等（イベント、出前講座等）の開催
担い手	デジタル戦略課

目標(値)



実施スケジュール



全市民のデジタル技術の利活用技術向上を目指します。

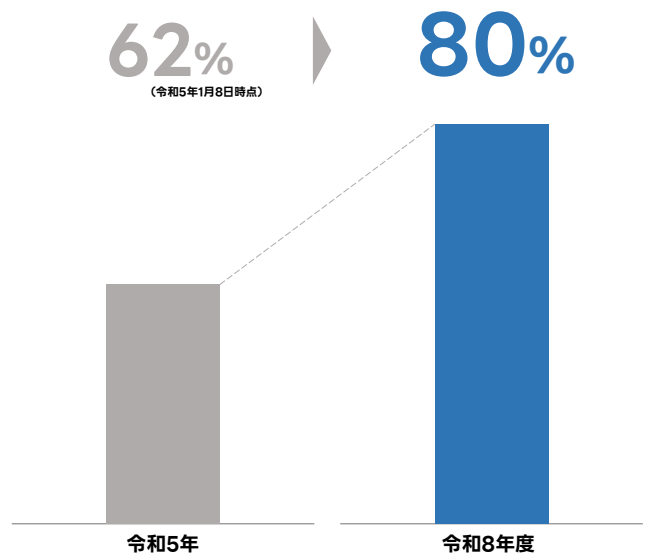
デジタル普及イベント # 出前講座

2 マイナンバーカードの普及促進

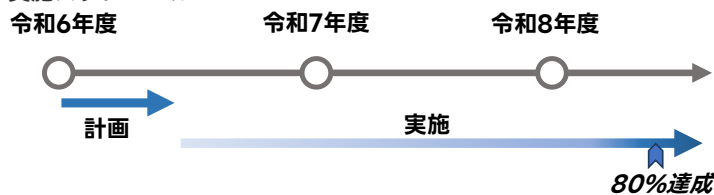
概要

目指すこと	多くの市民がマイナンバーカードを所有する状況を目指します。
やること	窓口でのマイナンバーカード申請に加えて、職員がさまざまな場所への出張申請支援を行います。
目標(値)	令和8年度までにマイナンバーカード交付率80%
担い手	市民課

目標(値)



実施スケジュール



マイナンバーカード # 出張申請支援

くらしの
デジタル推進

3 マイナンバーカードの利活用促進

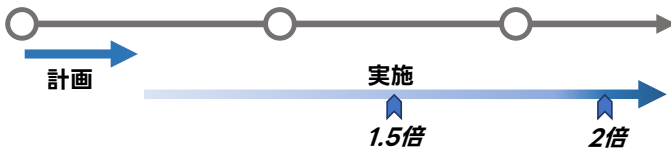
概要

目指すこと	マイナンバーカードを利活用できる行政サービスを展開し、市民の利便性向上を図ります。
やること	マイナンバーカードを本人確認として利用する電子申請を拡充するほか、マイナンバーカードを利用することで市民の利便性を向上させる行政サービスを検討し、展開します。
目標(値)	マイナンバーカードを利用した行政サービス申請数2倍
担い手	デジタル戦略課

目標(値)



実施スケジュール
令和6年度 令和7年度 令和8年度



マイナンバーを利用したサービスを

2倍

マイナンバー # 利便性向上

4 公共施設ネットワーク設備の推進

くらしの
デジタル推進

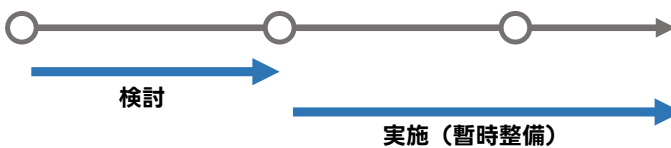
概要

目指すこと	フリーWi-Fiを利用できる環境を整えることで、だれでもいつでもデジタルを利用できるようにします。
やること	公共施設等に、だれでも利用できるフリーWi-Fiを整備します。
目標(値)	公共施設等にフリーWi-Fiを整備4箇所(各地域1箇所)
担い手	デジタル戦略課

目標(値)



実施スケジュール
令和6年度 令和7年度 令和8年度



公共施設等にフリーWi-Fiを整備

4箇所

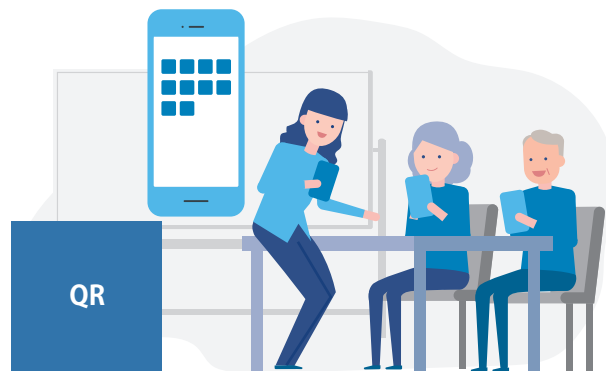
フリーWi-Fi # 公共施設

5 スマホ教室の継続的な開催

概要

目指すこと	だれもがスマホを活用できることで、行政サービスや地域のデジタル化を推進します。
やること	携帯ショップなどと連携し、市民を対象にしたスマホに関する教室を開催します。
目標(値)	スマホ教室開催 ・定期的な教室の開催 ・参加者の満足度効果測定を毎回実施
担い手	生涯学習課・デジタル戦略課

目標(値)

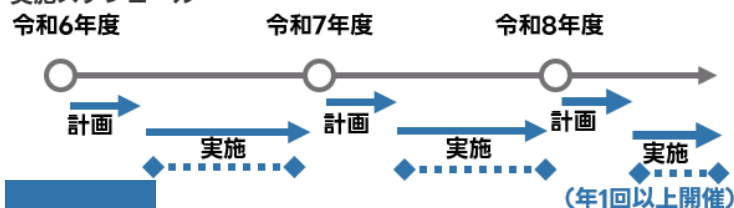


QR

市民を対象にしたスマホに関する教室を定期的で開催します。

スマホ教室 # 脱デジタルデバインド

実施スケジュール



QR

←詳細はこちらから

6 インターネット利用機会の向上

概要

目指すこと	市民の方が探している情報を迅速に見つけられるように改善することで、市民の利便性を向上させます。
やること	嘉麻市公式ホームページやSNS等の運用方法を見直し、市民に必要な情報をわかりやすく発信できる環境整備を行い、迅速かつ確実な情報発信を行います。
目標(値)	公式ホームページアクセス数 30%向上
担い手	人事秘書課・デジタル戦略課

目標(値)

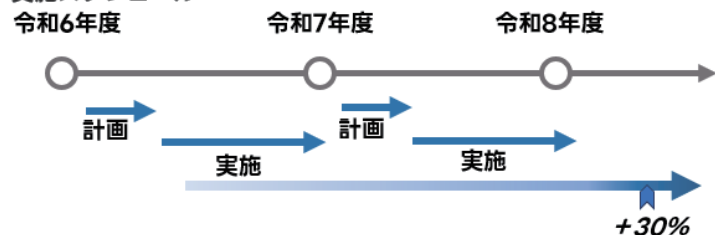


公式ホームページアクセス数

30% 向上

ホームページ # SNS

実施スケジュール



くらしの
デジタル推進

7 地域へのデジタルツールの普及促進

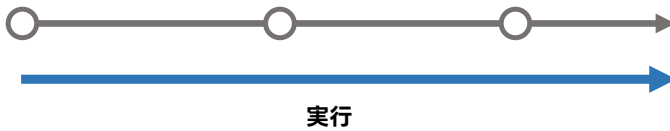
概要

目指すこと	地域の仕事にデジタルツールを導入することで、市民の方の負担軽減や事務効率化を図ります。
やること	デジタルツールの導入を検討している地域に対して計画策定等を支援します。
目標(値)	デジタルツール導入地域普及促進 2地域/年間
担い手	デジタル戦略課

目標(値)



実施スケジュール
令和6年度



デジタルツール導入地域普及促進

2地域/年間

デジタルツール # 負担軽減

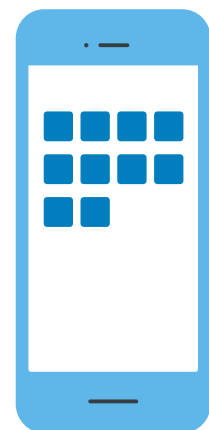
8 市民のスマホ保有率向上推進

くらしの
デジタル推進

概要

目指すこと	スマホ保有率を向上させ、いつでもどこでも行政サービスを利用できる環境を整えます。
やること	市民のスマホ保有率が向上するような取り組みを実施します。
目標(値)	市民のスマホ保有率90%
担い手	デジタル戦略課

目標(値)



市民のスマホ保有率

90%

スマホ # 保有率向上

実施スケジュール
令和6年度

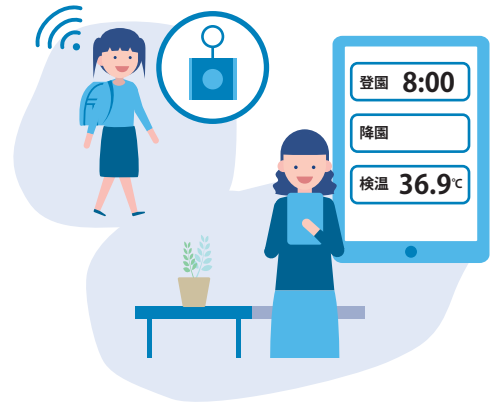


9 保育施設等に保育支援システム導入推進

概要

目指すこと	保育を支援するシステムを導入し、保育士等の業務を効率化するとともに、保育環境や保育の質の向上を図ります。
やること	国の補助事業を活用するなどし、保育施設等に必要な保育支援システムの導入を推進します。
目標(値)	保育施設等に必要な保育支援システムの導入率100%
担い手	こども育成課

目標(値)

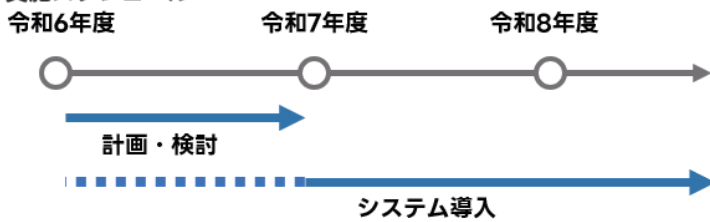


保育支援システムの導入率

100%

保育環境の改善 # 保育支援システム

実施スケジュール



10 くらしの各種手続きのオンライン化拡充

概要

目指すこと	市民の方が市役所に来なくても行政手続きができる環境を整備し、市民の方が24時間どこからでも行政手続きができるよう利便性向上を図ります。
やること	オンライン化可能な手続きを検討し、手続きフォームを拡充実装します。
目標(値)	オンラインによる手続きフォーム増加10件以上/年間
担い手	デジタル戦略課・その他関係課

目標(値)

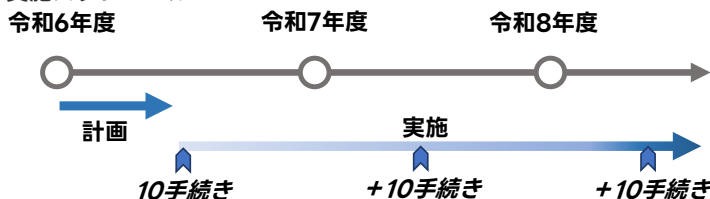


オンライン化可能手続きフォーム

年 10 手続き以上 実装

オンライン手続き # 行かない市役所

実施スケジュール



QR

←詳細はこちらから

11 未来を担うこどものためのデジタル教育実施

概要

目指すこと	未来の本市を担うこどもたちが、ITやデジタル化に関する知識を学習することで、こどもたちの情報リテラシーを向上させます。
やること	市内の小中学生や先生に対して、情報リテラシーや情報モラルに関する授業を実施するとともに、最適なICT環境、デジタル教材等の更なる利活用に努めます。
目標(値)	児童生徒1人1台学習端末による授業等活用継続
担い手	学校教育課・生涯学習課

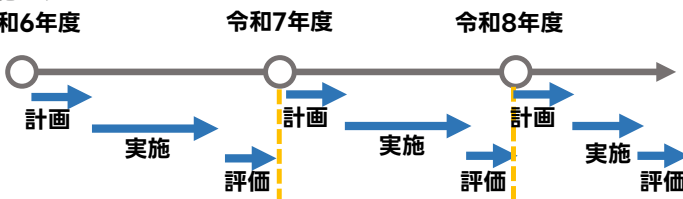
目標(値)



こどもたちの情報リテラシーを向上させ、デジタル技術に強いこどもたちを育成します。

情報リテラシー # デジタル教育

実施スケジュール
令和6年度



12 デジタルを利用したこどもや高齢者の見守り検討

概要

目指すこと	こどもや高齢者が安心して暮らすことができるまちを目指します。
やること	市民を見守ることができるシステム等の仕組みづくりについて検討します。
目標(値)	市民を見守ることができる安心安全の仕組みづくり検討
担い手	デジタル戦略課・高齢者介護課・学校教育課・防災対策課

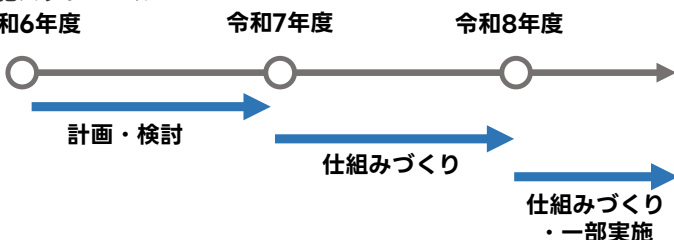
目標(値)



市民を見守ることができる安心安全の仕組みづくりを検討します。

見守りシステム # 安心安全

実施スケジュール
令和6年度



13 本庁と支所のオンライン化拡充

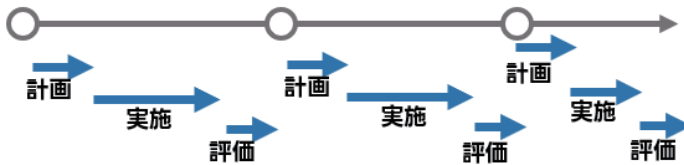
概要

目指すこと	本庁舎と支所のオンライン化をさらに拡充し、必要な手続きや問い合わせができる環境を整えます。
やること	本庁と支所の間でテレビ通話や書類の共有等ができる仕組みづくりを検討します。
目標(値)	本庁と支所等をつなぐシステムの検討
担い手	デジタル戦略課・市民サービス課・その他関係課

目標(値)



実施スケジュール
令和6年度 令和7年度 令和8年度



本庁と支所の間でテレビ通話や書類の共有等
ができる仕組みづくりを検討します。

本庁と支所をつなぐ # より良い市役所運営

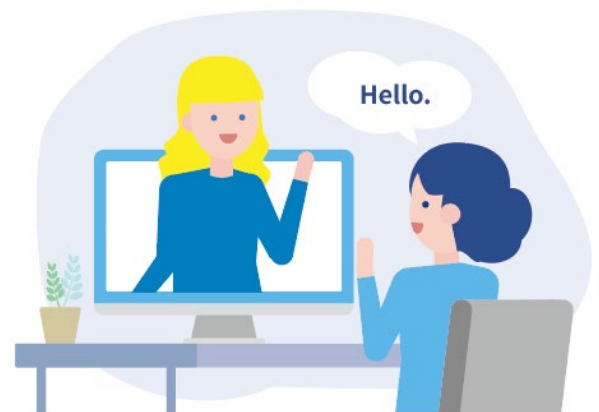
14

デジタルを活用した英語による コミュニケーション能力の向上

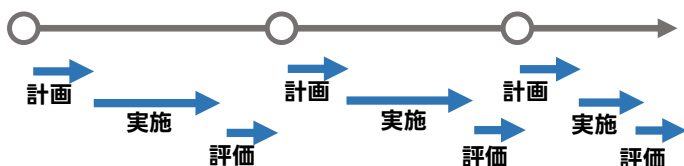
概要

目指すこと	デジタルを活用しながら、英語によるコミュニケーション能力を高め、グローバル化の進展に対応できる力を身に着けます。
やること	英語によるコミュニケーション能力の育成や英語に関する文化に対する理解を深めるため、外国語指導助手の配置やオンライン英会話を実施します。
目標(値)	オンライン英会話等を継続推進しこどもたちのコミュニケーション能力の育成
担い手	学校教育課

目標(値)



実施スケジュール
令和6年度 令和7年度 令和8年度



オンライン英会話等を継続推進しこどもたちの
コミュニケーション能力の育成を目指します。

オンライン英会話 # コミュニケーション

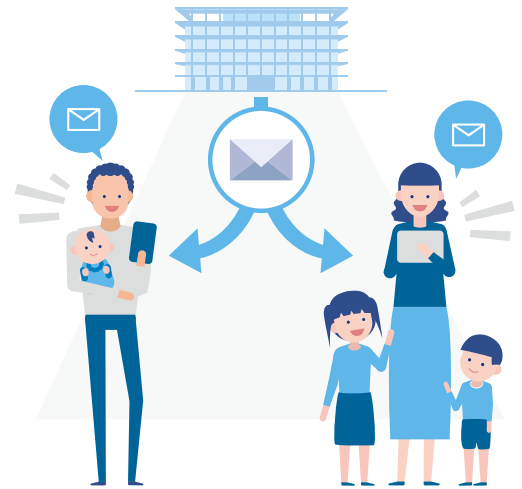
くらしの
デジタル推進

15 子育て世代の連絡ツール活用推進

概要

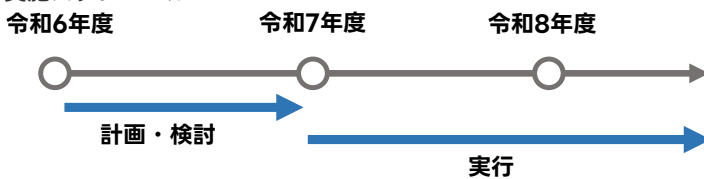
目指すこと	子育て世代への情報発信ツールを統一することで、子育て世代の連絡利便性の向上を目指します。
やること	公立保育所・学童・学校とそれぞれ別の連絡ツールを利用して情報発信を行っているため、連絡ツールを統一するように検討します。
目標(値)	「すぐメール」などの各種連絡ツールの統合化検討
担い手	こども育成課・学校教育課

目標(値)



連絡ツールを統一

実施スケジュール



すぐメール # プッシュ型子育て支援

16 デマンドバスアプリの利用促進

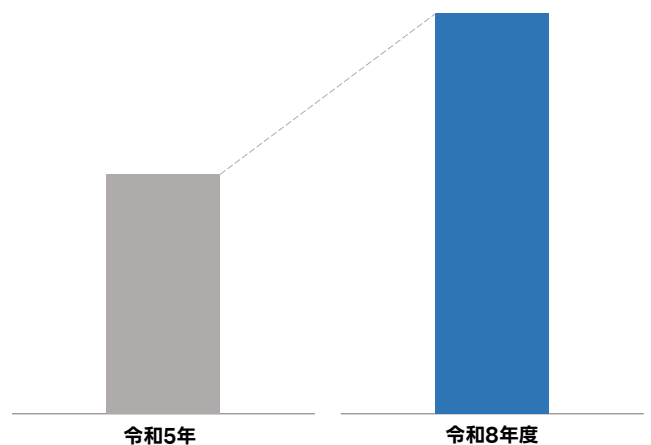
くらしの
デジタル推進

概要

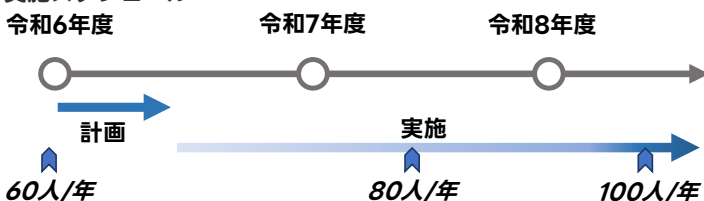
目指すこと	デマンドバスのアプリ予約を普及することで、場所、時間を問わず予約可能なアプリによる利便性向上と予約事務に係る効率化を図ります。
やること	デマンドバスの周知やアプリの利用方法を周知するとともに、LINEを活用したデマンドバスの予約受付を可能とします。
目標(値)	デマンドバスアプリ予約等の利用者数を60人から100人に増加
担い手	交通政策課

目標(値)

60人 ▶ 100人



実施スケジュール



60人/年

80人/年

100人/年

QR

←詳細はこちらから

デマンドバス # アプリ予約

17 デジタルを使った市内経済の活性化推進

概要

目指すこと	地域通貨等を導入することにより、市内での経済活動や消費活動の活性化を目指します。
やること	地域通貨等の推進に関する組織を設置し、デジタル技術を活用した官民連携による市内経済の活性化について検討します。
目標(値)	令和6年度に組織を設置、検討開始
担い手	デジタル戦略課

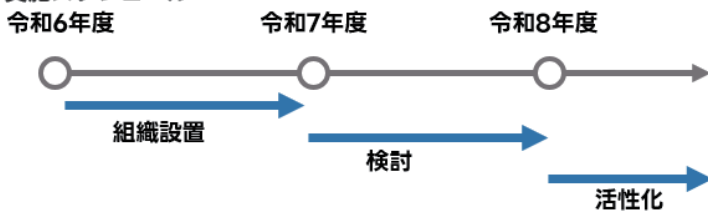
目標(値)



地域通貨等を導入することにより、市内での経済活動や消費活動の活性化を目指します。

地域通貨 # 消費活動活性化

実施スケジュール

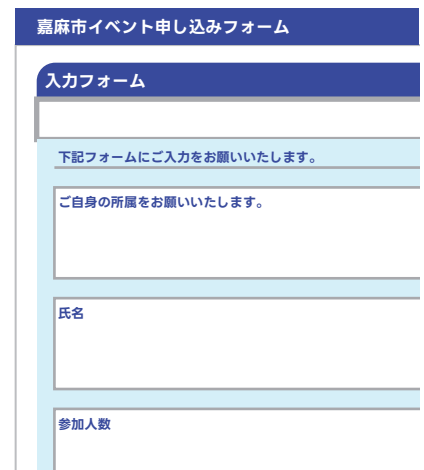


18 市が主催するイベント、講座等申し込みのオンライン化拡充

概要

目指すこと	市が運営するイベントの申し込みをオンライン化し、市民の利便性を向上します。
やること	市が運営するイベントの実施手順を確認し、申し込みフォームを拡充実装します。
目標(値)	申し込みフォーム作成・実装 10件/年間
担い手	デジタル戦略課・その他関係課

目標(値)

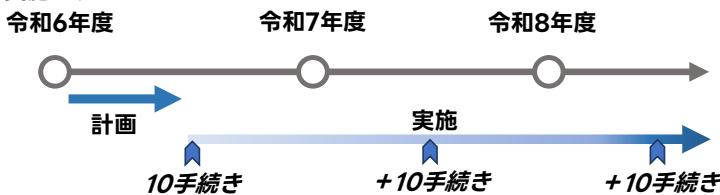


申し込みフォーム作成・実装

10 件 / 年

イベント申し込み # オンライン化

実施スケジュール



QR

←詳細はこちらから

19 施設等予約申し込みのオンライン化推進

概要

目指すこと	公共施設の利用予約をオンライン化し、市民の利便性を向上します。
やること	公共施設の利用予約や利用料金の支払いがオンラインで可能となる仕組みを検討します。
目標(値)	令和8年度までにオンラインでの利用予約率10%
担い手	デジタル戦略・生涯学習課・スポーツ推進課・その他関係課

目標(値)

嘉麻市施設申し込みフォーム

入力フォーム

下記フォームにご入力をお願いいたします。

ご自身の所属をお願いいたします。

氏名

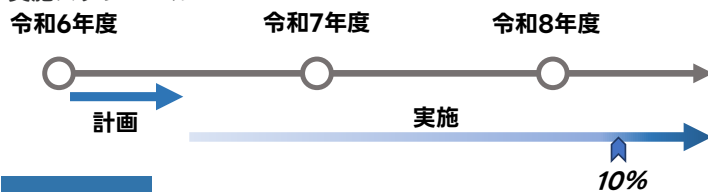
予約施設

オンラインでの利用予約率

10%

オンライン利用予約 # 公共施設をもっと気軽に

実施スケジュール



QR

←詳細はこちらから

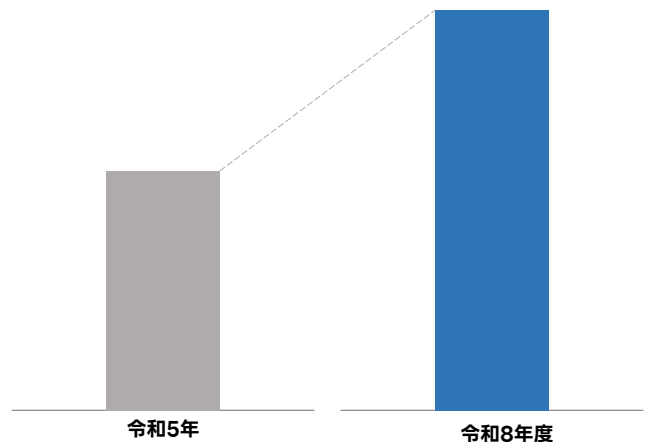
20 ごみ収集日等の行政情報のオンライン通知拡充

概要

目指すこと	ごみ収集日やその他行政情報をプッシュ型で発信することで、市民の方が求めている行政情報を漏れなく得ることができる環境を整えます。
やること	嘉麻市LINE公式アカウント等を活用して市民の方の属性を把握し、適切な行政情報の発信を行います。
目標(値)	嘉麻市LINE公式アカウントの利用者(お友達)10,000人
担い手	環境課・デジタル戦略課・その他関係課

目標(値)

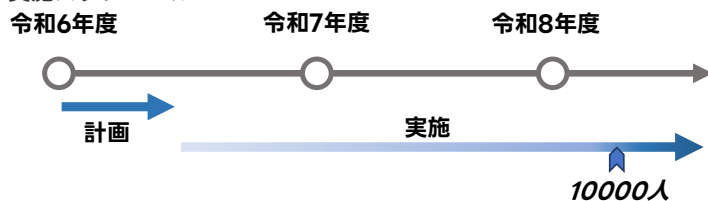
4000人 ▶ 10000人



LINEアカウント(お友達)

オンライン通知 # LINEアカウント

実施スケジュール



QR

←詳細はこちらから

21 オンラインによる買い物支援促進

概要

目指すこと	家においてもオンラインで買い物ができる環境を整えることで、買い物弱者への支援と市内の経済活動の活性化を目指します。
やること	オンラインで買い物をするができるシステムの検討や、市内協力店舗との協力をを行います。
目標(値)	令和8年度までに市内の商店等と連携したオンラインでの買い物を実現
担い手	デジタル戦略

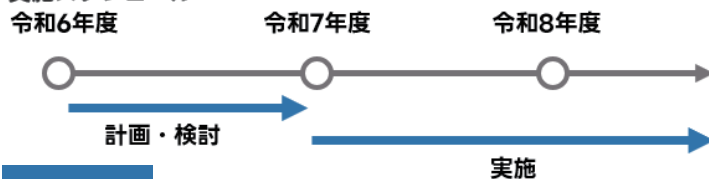
目標(値)



オンラインで買い物をするができるシステムの検討や、市内協力店舗との協力をを行います。

オンラインで買い物 # 地域経済活性化

実施スケジュール



QR

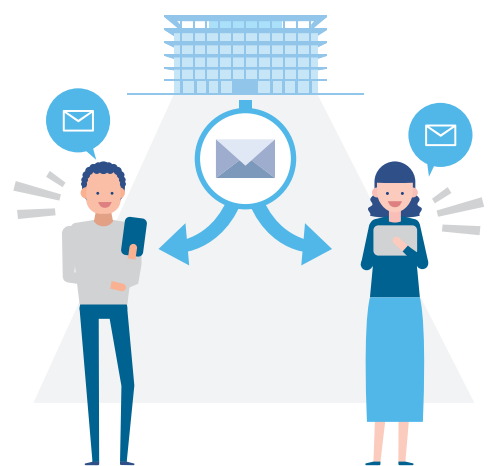
←詳細はこちらから

22 オンラインによる市民からの情報収集推進

概要

目指すこと	市民から、損傷している箇所等の市へ連絡すべき情報を、電話のほかに24時間オンラインで受け付けるフォームを構築することで、住民の利便性向上を目指します。
やること	オンラインで市へ情報を送ることができるフォームを構築するとともに、各課が適切に対応できるような仕組みづくりを行います。
目標(値)	令和6年度までに情報収集仕組みを構築、令和7年度以降オンラインによる情報収集実施
担い手	デジタル戦略課・人事秘書課

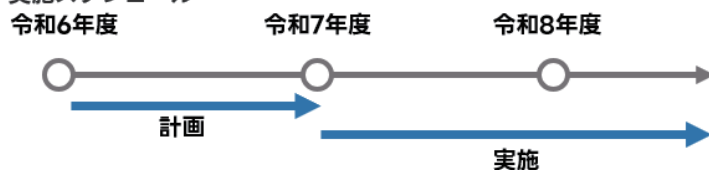
目標(値)



各課が適切に対応できるような仕組みづくりを行います。

市民の利便性向上 # オンラインフォーム

実施スケジュール





しごとのデジタル推進アクション

オンライン申請やオープンデータ促進などにより、業務高効率化や新たなサービスの創造により企業や一次産業従事者にとって働きやすい環境を官民が一体となって目指します。

しごとのデジタル推進アクション一覧

カルテ No.23. 事業者とのオンライン会議の普及促進

カルテ No.24. 市内のどこでも仕事ができる環境整備の推進

カルテ No.25. 事業者向けの各種手続きのオンライン推進

カルテ No.26. 公共事業発注のオンライン化推進

カルテ No.27. デジタルによる地図情報の積極的な公開拡充

カルテ No.28. IT 事業者との協働による地域デジタル化推進

カルテ No.29. 農林振興に関する行政情報のデジタル化推進

カルテ No.30. DX を推進する市内事業者の活動を支援

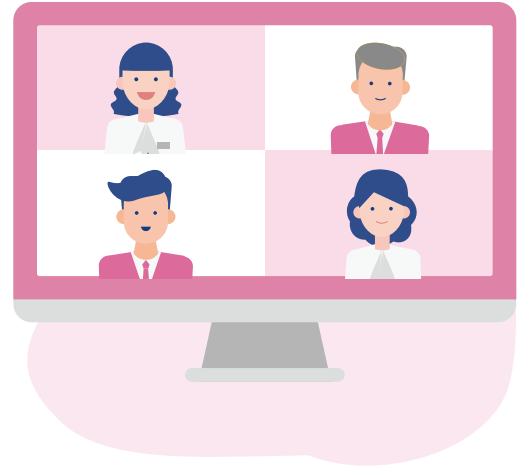
23 事業者とのオンライン会議の普及促進

しごとの
デジタル推進

概要

目指すこと	市職員と事業者をオンライン会議システムで繋ぐことで、円滑な業務運営と働き方改革を目指します。
やること	事業者とのオンライン会議の試行を行い、実用化に向けて検討します。
目標(値)	会議の内容に応じた、オンライン会議の積極的な導入
担い手	デジタル戦略課・土木課・住宅課・農林振興課

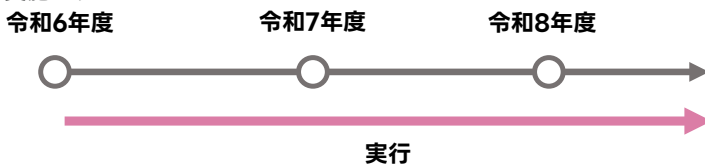
目標(値)



円滑な業務運営と働き方改革を目指します。

オンライン会議 # 働き方改革

実施スケジュール



24 市内のどこでも仕事ができる環境整備の推進

しごとの
デジタル推進

概要

目指すこと	自然環境の中でも快適に働けるよう、インターネット環境を構築することにより、市内のどこでも仕事などができるまちを目指します。
やること	公共施設にインターネット環境や仕事等を行うことができるスペースが整備可能か検討します。
目標(値)	市内の公共施設にインターネット環境や仕事等を行うことができるスペースを整備 ・ 4箇所 (各地域1箇所)
担い手	デジタル戦略課・その他関係

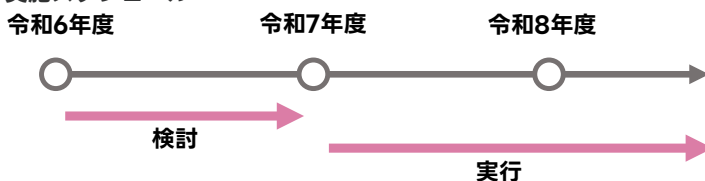
目標(値)



市内の公共施設にインターネット環境や仕事等を行うことができるスペースを整備します。

コワーキングスペース # 新しい働き方

実施スケジュール



25 事業者向けの各種手続きのオンライン化推進

しごとの
デジタル推進

概要

目指すこと	事業者の方が市役所に来なくても行政手続きができる環境を整備し、事業者の方が24時間どこからでも問い合わせや申請などの行政手続きができるよう利便性向上を図ります。
やること	各課の業務のうち、オンライン化可能な手続きを検討し、手続きフォームを実装します。
目標(値)	年間5手続き以上の手続きフォームを実装
担い手	デジタル戦略課・その他関係課

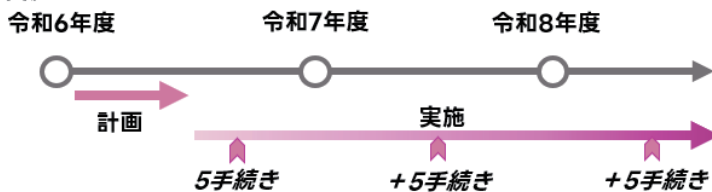
目標(値)



オンライン化可能手続きフォーム

年 **5** 手続き以上 実装

実施スケジュール



ペーパーレス # オンライン手続き

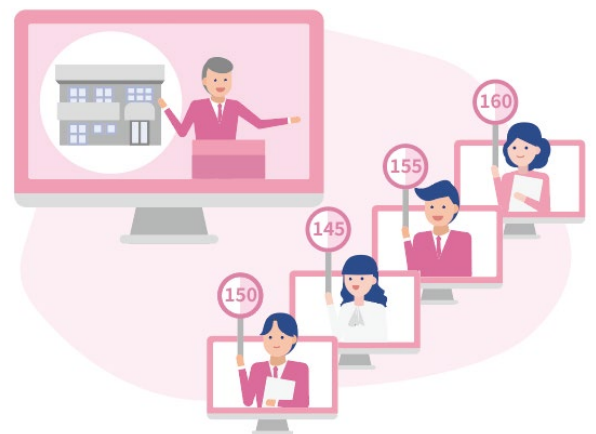
26 公共事業発注のオンライン化推進

しごとの
デジタル推進

概要

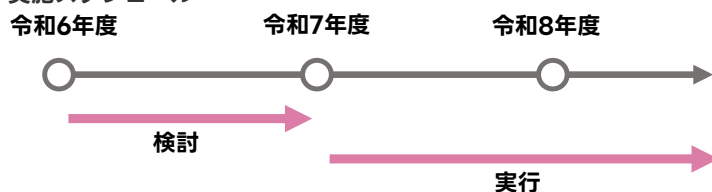
目指すこと	公共工事発注のうち入札執行に関する仕様書の配布及び入札の一部を電子入札にすることにより業者の利便性及び直接対応の軽減を図ります。
やること	業者への周知及び模擬入札を複数回行い、問題点洗い出し、本格実施に向け実施体制を整える。
目標(値)	入札対象の公共工事発注を段階的に電子入札へと移行
担い手	管財課

目標(値)



入札の一部を電子入札にすることにより業者の利便性及び直接対応の軽減を図ります。

実施スケジュール



電子入札 # 利便性の向上

27 デジタルによる地図情報の積極的な公開拡充

しごとの
デジタル推進

概要

目指すこと	公開可能な地図情報・空間情報は一般公開し、市民や市内事業者が自由に活用できる環境を構築を目指します
やること	各課が管理する公開可能な地図情報の集約を行い、自由に利用できる環境整備を行います。
目標(値)	自由に利用できる地図情報等を提供
担い手	デジタル戦略課・管財課・税務課・防災対策課・水道局・農林振興課・土木課・生涯学習課

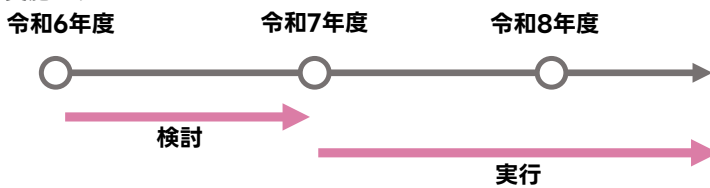
目標(値)



公開可能な地図情報の集約を行い、自由に利用できる環境整備を行います。

オープンデータ # 地図情報

実施スケジュール



28 IT事業者との協働による地域デジタル化推進

しごとの
デジタル推進

概要

目指すこと	IT事業者と協働しながら、有効なデジタル技術の調査・検討を行い、地域デジタル化の推進を図ります。
やること	専門的見地を有するIT事業者と協働し、様々なデジタル技術の可能性について検討します。
目標(値)	IT事業者、市民等によるカマデジの担い手によるデジタル検討会議の設置、取組検討
担い手	デジタル戦略課

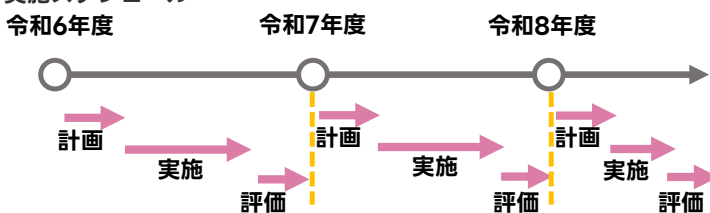
目標(値)



様々なデジタル技術の可能性について検討していきます。

地域デジタル化推進 # カマデジの担い手

実施スケジュール



しごとの
デジタル推進

29 農林振興に関する行政情報のデジタル化推進

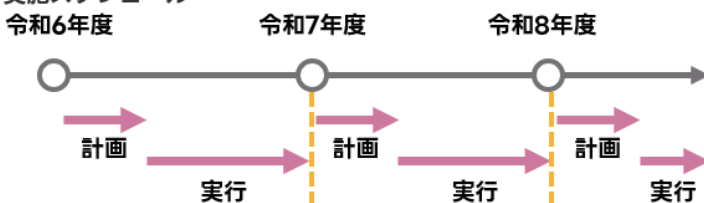
概要

目指すこと	農林振興に関する情報等（就農相談 農地状況、助成金等）について、デジタル化等による情報発信、手続きのオンライン化を目指します。
やること	農林振興情報等のオンラインによる情報収集、発信等ができる仕組みづくりを行います。
目標(値)	情報収集、発信等の仕組みを構築 農地情報等のデジタルサイト等の更なる利活用
担い手	農林振興課・農業委員会・デジタル戦略課

目標(値)



実施スケジュール



農林振興情報等のオンラインによる
情報収集、発信等ができる仕組みづくり
を行います。

農業振興情報 # デジタルサイト

30 DXを推進する市内事業者の活動を支援

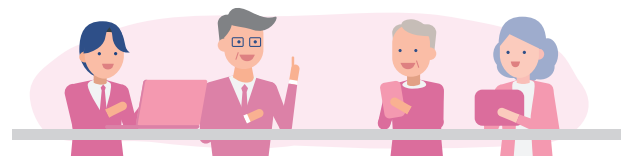
しごとの
デジタル推進

概要

目指すこと	DXを通して市内事業者がいきいきと活動できる環境を支援します。
やること	市内事業者に対してデジタル化の必要性の啓発、取組みを支援する補助金の活用、先進事例等の情報提供を行います。
目標(値)	市内事業者向け啓発イベント等の実施 5回/年
担い手	デジタル戦略課・産業振興課

目標(値)

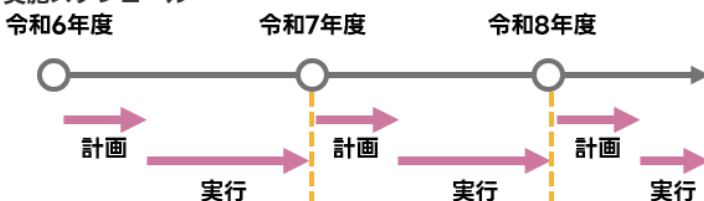
DX



市内事業者向け啓発イベント等

年 **5** 回 実施

実施スケジュール



#DX 推進 # 事業支援



ぎょうせいのデジタル推進アクション

市民のみなさんが様々な行政サービス従来の方法に加えて、デジタル技術を活用することでオンラインでも各種手続き等ができるような仕組みづくりや、行政職員の業務効率を向上させることを目指します。

ぎょうせいのデジタル推進アクション一覧

- カルテ No.31. 災害に強い情報管理体制構築の検討
- カルテ No.32. 避難所空き情報などの防災情報を迅速に配信
- カルテ No.33. デジタル推進に伴うセキュリティの向上
- カルテ No.34. 職員の情報リテラシー向上
- カルテ No.35. 行政手続きの電子申請を推進するための関係例規整備
- カルテ No.36. 行政事務にデジタル技術を活用
- カルテ No.37. オンライン、テレワーク等、職員の多様な働き方を拡大
- カルテ No.38. 市民から寄せられる事案の一元管理を推進
- カルテ No.39. システム標準化を推進
- カルテ No.40. 文書の電子化による保管文書削減
- カルテ No.41. 生成 AI の利活用促進
- カルテ No.42. 市役所窓口のデジタル化拡充
- カルテ No.43. 行政サービスの品質向上のための電話対応の録音、チャット等の利活用検討
- カルテ No.44. 行政事務の各種手続きのオンライン化推進
- カルテ No.45. 庁内決裁の電子化推進
- カルテ No.46. デジタル推進計画・アクションプランの進捗管理実施
- カルテ No.47. 嘉麻市公式 YouTube による行政情報の周知・啓発推進
- カルテ No.48. 嘉麻市公式 HP・SNS 等による効果的な行政情報発信の拡充
- カルテ No.49. 行政情報発信の集約、一元化の推進
- カルテ No.50. オープンデータの積極的な公開推進

31 災害に強い情報管理体制構築の検討

概要

目指すこと	災害状況の把握から復旧までの一連の情報を管理することで災害時の早期対応・早期復旧を図り、市民の人命・財産を守ります。
やること	被災の通報受付から復旧までの一連の事案情報を一元管理できる体制を構築します。
目標(値)	災害に強い情報管理体制を構築
担い手	防災対策課

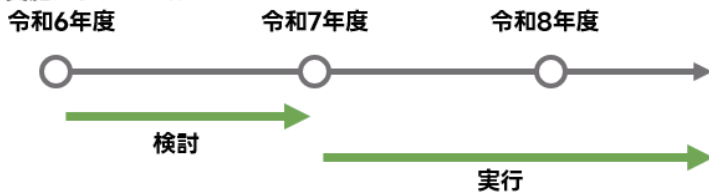
目標(値)



被災の通報受付から復旧までの一連の事案情報を一元管理できる体制を構築します。

災害復旧 # 災害に強いまち

実施スケジュール



32 避難所空き情報などの防災情報を迅速に配信

概要

目指すこと	避難所の空き状況などの防災情報を随時に配信し、市民が迅速かつ確実に防災情報を取得することで、安心安全な避難を可能とします。
やること	防災情報等を随時発信するとともに、全世界に防災情報を伝えることができる環境を整備します。
目標(値)	インターネット等による防災情報発信手法や頻度等の基準検討・実施
担い手	防災対策課

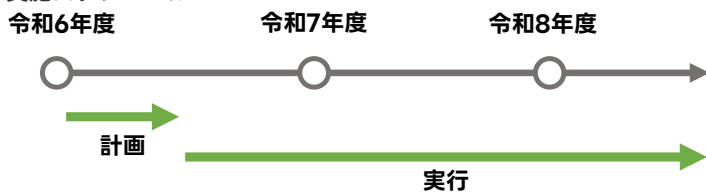
目標(値)



市民が迅速かつ確実に防災情報を取得することで、安心安全な避難を可能とします

防災情報 # 安心安全な避難

実施スケジュール



ぎょうせいの
デジタル推進

33 デジタル推進に伴うセキュリティの向上

概要

目指すこと	デジタルを推進していくうえで、安心してデジタルが活用できるセキュリティ環境の整備を行います。
やること	市民が安心して暮らせる嘉麻市をデジタル面から作っていくため、既存の情報セキュリティ取り扱い基準（セキュリティポリシー）を現在の基準に合わせて新たに策定します。
目標(値)	新たなセキュリティポリシー策定及び適切運用
担い手	デジタル戦略課

目標(値)



実施スケジュール



新たなセキュリティポリシー策定と適切な運用をおこなっていきます。

情報セキュリティ # セキュリティポリシー

34 職員の情報リテラシー向上

ぎょうせいの
デジタル推進

概要

目指すこと	全職員が情報資産を適切に取り扱うことの重要性を認識し、適切な管理を徹底します。
やること	全職員に対してセキュリティ研修を実施するとともに、DXリーダーに対しても定期的にセキュリティ研修を実施します。
目標(値)	職員の情報活用研修、情報セキュリティ研修の実施 受講率100%
担い手	デジタル戦略課

目標(値)



実施スケジュール



全職員セキュリティ研修受講率

100%

#DXリーダー # 情報リテラシー

35 行政手続きの電子申請を推進するための関係例規整備

概要

目指すこと	行政手続きを電子申請で行うことができるよう、関係例規を整備します。
やること	関係例規の情報収集を行い、例規整備します。
目標(値)	関係例規の整備
担い手	デジタル戦略課

目標(値)



実施スケジュール



行政手続きを電子申請で行うことができるよう、関係例規を整備します。

行政手続き # 関係例規整備

36 行政事務にデジタル技術を活用

概要

目指すこと	デジタル技術を活用することで、行政事務の効率化とサービス向上を図ります。
やること	AI-OCR、RPA、ローコードアプリ、タブレット等のデジタル技術の利用可能な業務を抽出し、必要に応じデジタル技術を導入します。
目標(値)	デジタル技術を活用した業務 50件導入
担い手	デジタル戦略課・その他関係課

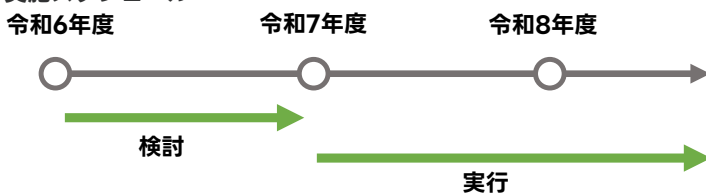
目標(値)



デジタル技術を活用した業務

50 件

実施スケジュール



行政事務 # デジタル技術

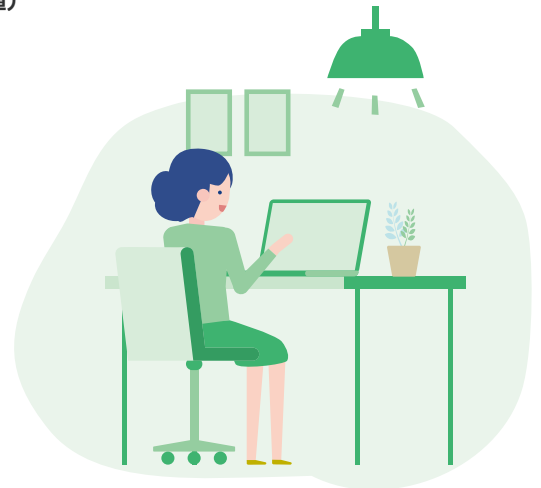
37 オンライン、テレワーク等、職員の多様な働き方を拡大

ぎょうせいの
デジタル推進

概要

目指すこと	職員の多様な働き方を実現するため、オンライン、テレワーク等を拡充します。
やること	オンライン会議の積極的な推進、テレワークの運用ルールの作成推進、全職員業務用チャットアカウントの配布等を行います。
目標(値)	オンラインで参加できる会議の割合 50%
担い手	デジタル戦略課・人事秘書課

目標(値)

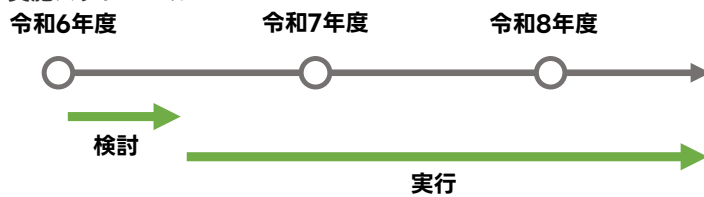


オンラインで参加できる会議

50%以上

多様な働き方 # テレワーク

実施スケジュール



38 市民から寄せられる事案の一元管理を推進

ぎょうせいの
デジタル推進

概要

目指すこと	市民から寄せられる要望等を一元管理することで、対応漏れ二重対応を防ぎ、業務の効率化を図ります。
やること	市民から寄せられる要望等をデータベース化し、事案の一元管理を行います。
目標(値)	令和8年度の未処理案件 0件
担い手	デジタル戦略課・人事秘書課・その他関係課

目標(値)

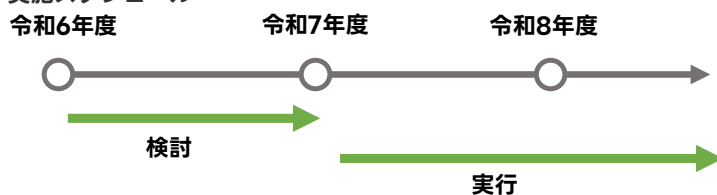


令和8年度の未処理案件

0 件に

一元管理 # データベース

実施スケジュール

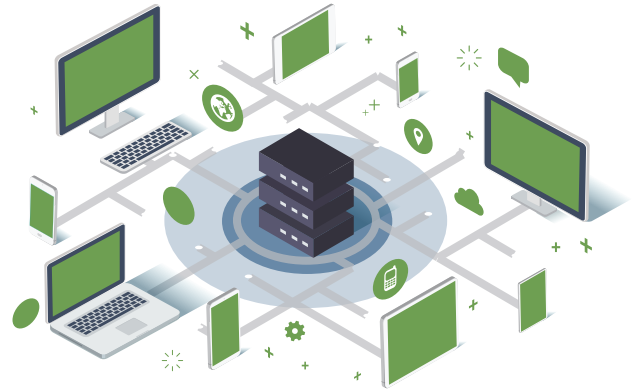


39 システム標準化を推進

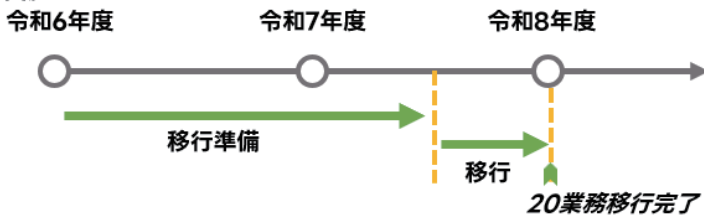
概要

目指すこと	基幹系システムを令和7年度末までに国が定める標準仕様書を踏まえたシステムへ移行することで、効率的かつ効果的に行政運営を行うことを目指します。
やること	国が定めた標準仕様書に基づいた基幹系システムの構築を行います。
目標(値)	令和7年度末までに20業務のシステム標準化完了
担い手	デジタル戦略課

目標(値)



実施スケジュール



システム標準化完了

20 業務

システム移行 # 標準化

40 文書の電子化による保管文書削減

概要

目指すこと	既存の保管文書や紙の図面は電子化をすすめ、記録の安全性を確保するとともに、省スペース化を図ります。
やること	保管管理が煩雑な紙文書（書類、図面等）の電子化をすすめ、保管文章を削減します。
目標(値)	保管文章の完全電子化
担い手	総務課・デジタル戦略課

目標(値)



保管文書の完全電子化を
目指します。

実施スケジュール



電子決裁 # 保管文書削減

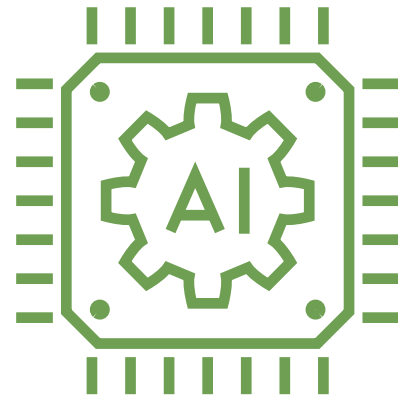
ぎょうせいの
デジタル推進

41 生成AIの利活用促進

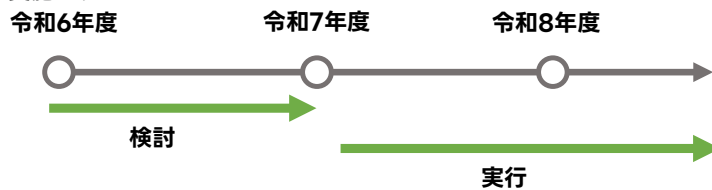
概要

目指すこと	生成AIを活用し、職員の業務効率化を図ります。
やること	生成AIの活用事例等の調査・研究を行い、利活用ガイドラインを策定し、生成AIの利活用を推進します。
目標(値)	生成AI利活用ガイドラインを策定し、利活用を推進します。
担い手	デジタル戦略課

目標(値)



実施スケジュール



生成AI利活用ガイドラインを策定し、
利活用を推進します。

生成AI # ガイドライン

42 市役所窓口のデジタル化拡充

ぎょうせいの
デジタル推進

概要

目指すこと	書かない、待たない、行かない窓口等の市役所窓口のデジタル化を推進することで、市民の利便性向上及び職員の業務効率化を図ります。
やること	電子申請やマイナンバーカード等を利用した窓口のデジタル化に向けた仕組みづくりや業務改革について検討します。
目標(値)	窓口のデジタル化を支援するシステムを導入
担い手	市民課・デジタル戦略課・市民サービス課 その他関係課

目標(値)



実施スケジュール



市役所窓口のデジタル化を推進する
ことで、市民の利便性向上及び職員
の業務効率化を図ります。

窓口のデジタル化 # 利便性向上

43

行政サービスの品質向上のための電話対応の録音、チャット等の利活用検討

ぎょうせいのデジタル推進

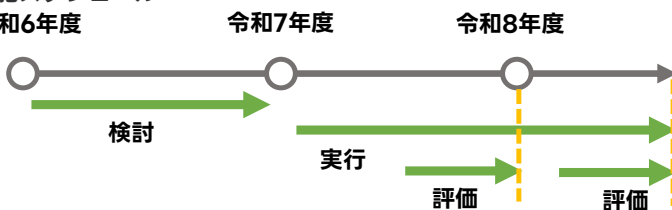
概要

目指すこと	市民からのお問合せ等に適切に対応するため、行政サービスの品質向上と市民の利便性向上を図ります。
やること	行政サービスの品質向上のため、電話通話等の録音や運用方法について検討します。また、チャット等の利活用についても推進します。
目標(値)	お問い合わせ等に関する市民満足度向上
担い手	総務課・人事秘書課

目標(値)



実施スケジュール
令和6年度



さらなる行政サービスの向上を図り、市民満足度を向上させます。

行政サービス向上 # 市民満足度向上

44

行政事務の各種手続きのオンライン化推進

ぎょうせいのデジタル推進

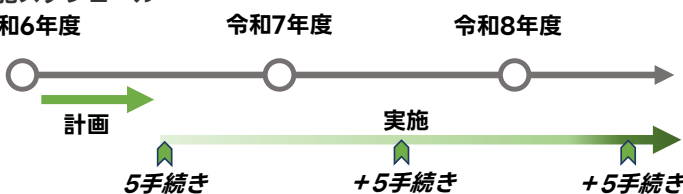
概要

目指すこと	行政事務の各種手続きをオンライン化することで、事務の効率化を図ります。
やること	オンライン化可能な各種行政事務に係る電子申請フォームを作成し利用できるようにします。
目標(値)	電子申請フォーム作成・実装 5手続き/年間
担い手	デジタル戦略課・その他関係課

目標(値)



実施スケジュール
令和6年度



電子申請フォームの作成

5 手続き/年

オンライン申請 # 効率化

45 庁内決裁の電子化推進

ぎょうせいのデジタル推進

概要

目指すこと	庁内決裁を電子化することにより、紙の使用量の削減や職員の決裁事務の効率化を実現します。
やること	電子決裁を可能とする各システム等の導入を検討し、行政事務のペーパーレス化を推進します。
目標(値)	電子決裁100%
担い手	総務課・デジタル戦略課

目標(値)



実施スケジュール



庁内決裁は
100%電子決裁!

カマデジ # アクションプラン

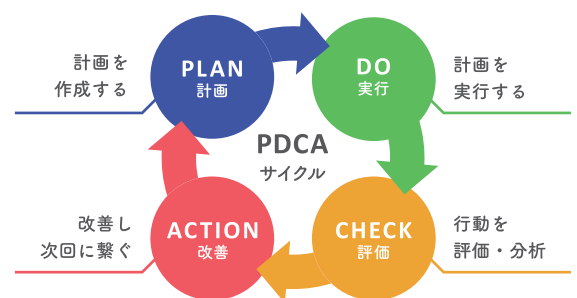
46 デジタル推進計画・アクションプランの進捗管理実施

ぎょうせいのデジタル推進

概要

目指すこと	デジタル推進計画アクションプランの評価を通して、より実現可能性の高い計画を目指します。
やること	年1回のアクションプランの振り返りと進捗確認します。
目標(値)	年1回のアクションプランの進捗管理を実施します。
担い手	デジタル戦略課

目標(値)



実施スケジュール



アクションプランの評価を通して、より実現可能性の高い計画を目指します。

ペーパーレス # 自然を大切に

47 嘉麻市公式YouTubeによる行政情報の周知・啓発推進

ぎょうせいの
デジタル推進

概要

目指すこと	開かれた行政として市政の透明性を確保することで、市政の理解を得やすい環境を実現します。
やること	嘉麻市議会や行政事務にかかる様々な情報を映像にしてYouTubeで公開します。
目標(値)	YouTube公開数年間12件
担い手	デジタル戦略課・人事秘書課・議会事務局総合政策課・その他関係各課

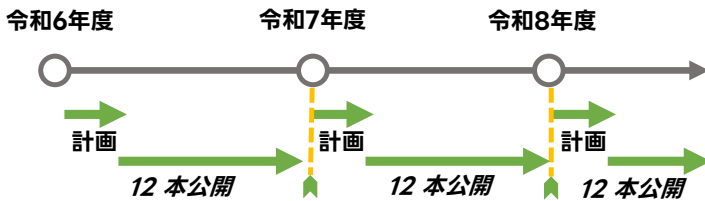
目標(値)



YouTube公開数
年間 **12** 件

#YouTube #行政情報の周知・啓発

実施スケジュール



48 嘉麻市公式HP、SNS等による効果的な行政情報発信の拡充

ぎょうせいの
デジタル推進

概要

目指すこと	嘉麻市公式HP、SNS等の運用方法を見直し、市民に必要な情報を分かりやすく提供できるよう環境整備を行い、迅速かつ確実な情報発信を行います。
やること	SNS,HP等の情報発信体系を構築し、充実した情報提供環境を作ります。
目標(値)	・SNS等運用マニュアルの作成 ・嘉麻市デジタル推進計画（カマデジ）認知率 80%
担い手	デジタル戦略課・人事秘書課

目標(値)



公式HP、SNS等の運用方法を見直し、行政情報の発信が市民にしっかり伝わるように環境づくりをします。

#HP #SNS #カマデジ

実施スケジュール



ぎょうせいの
デジタル推進

49 行政情報発信の集約、一元化の推進

概要

目指すこと	行政情報発信の一元化により、情報発信における庁内の横断的連携や的確な情報発信を実現します。
やること	各課が個別に発信している情報を一元管理する仕組みを構築し、情報発信の方法を改善します。
目標(値)	各課の情報を効率的に管理する仕組みの構築
担い手	人事秘書課

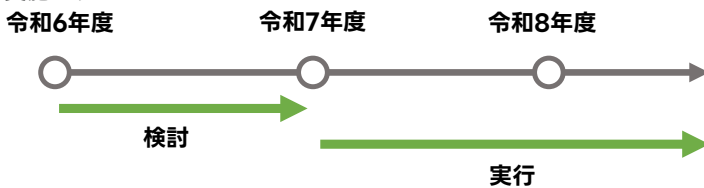
目標(値)



情報発信における庁内の横断的連携や的確な情報発信を実現します。

行政情報発信 # 横断的連携

実施スケジュール



50 オープンデータの積極的な公開推進

ぎょうせいの
デジタル推進

概要

目指すこと	市が保有しているデータをオープンデータ化することで、市民や市内事業者への利便性向上を図ります。
やること	市が保有しているデータを積極的にオープンデータ化し、オープンデータを積極的に更新します。
目標(値)	オープンデータ公開 30件/年間
担い手	デジタル戦略課・その他関係課

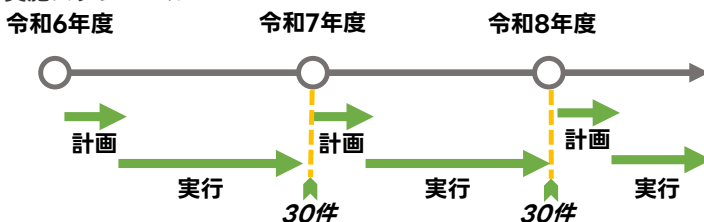
目標(値)



オープンデータ公開数

年間 **30** 件

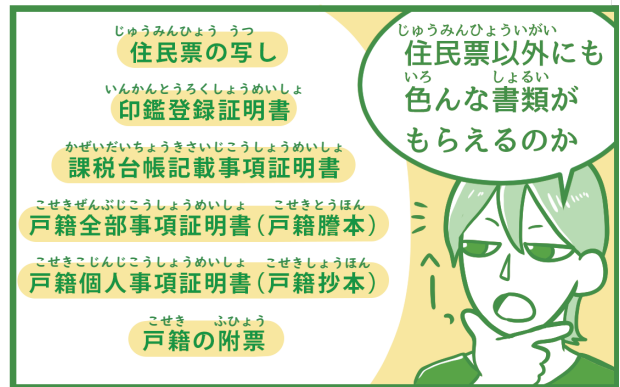
実施スケジュール



オープンデータ # 利便性向上

コンビニで証明書交付できるみたい！

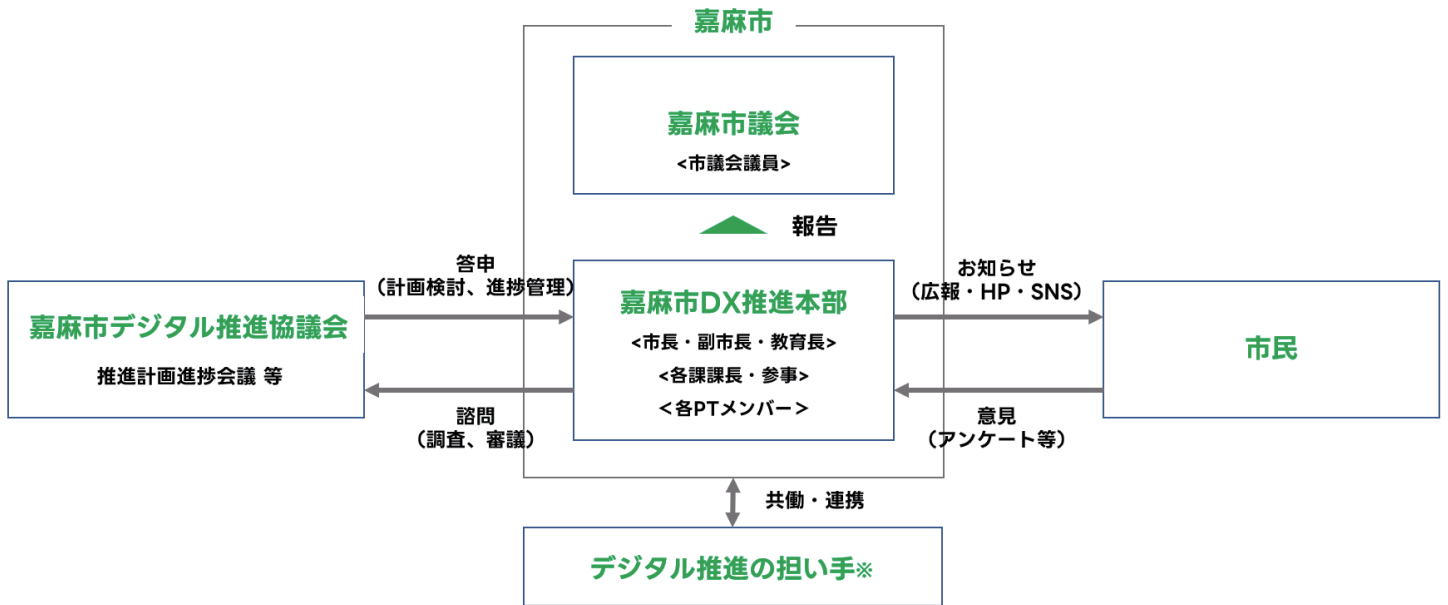
5. 意外とカンタン！コンビニ交付



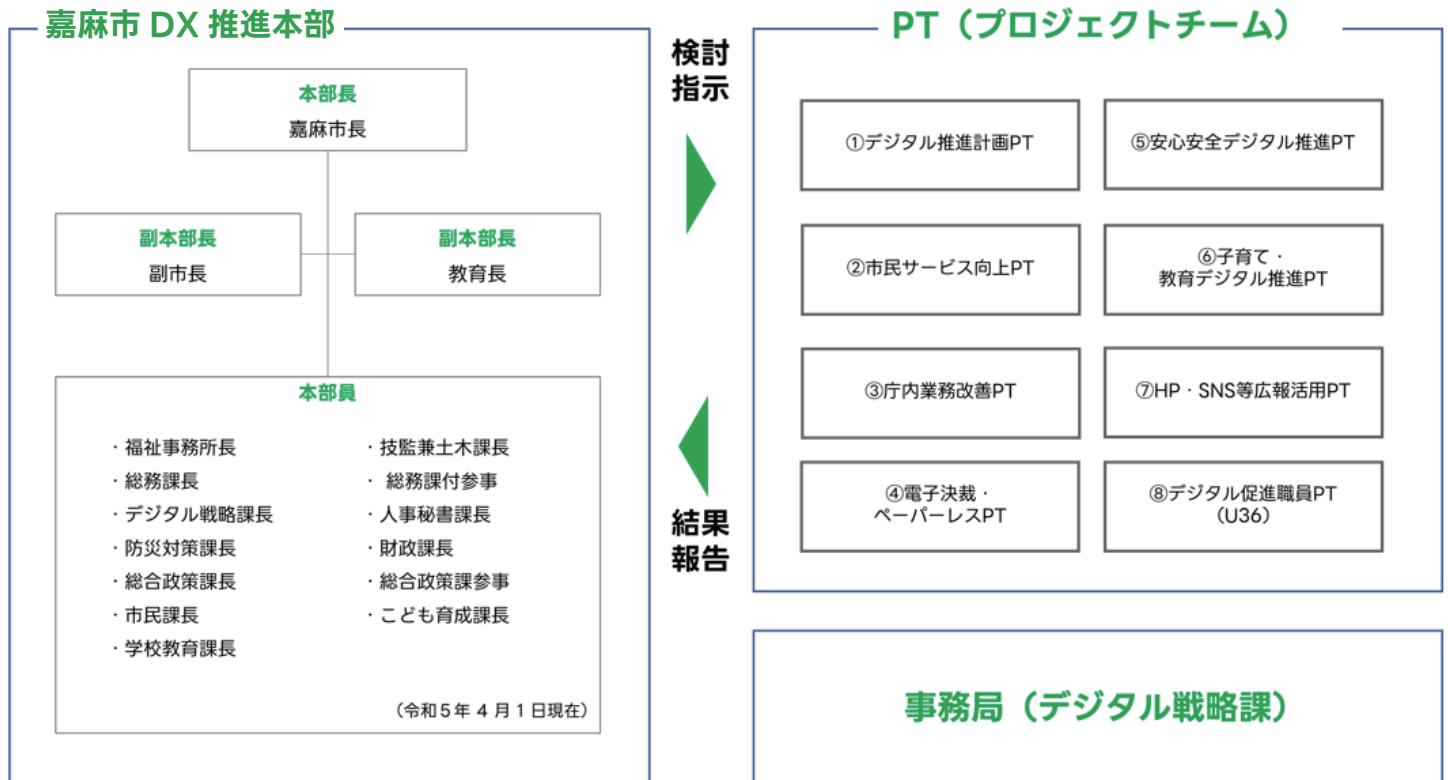
第4章 推進の体制

1. 計画推進体制

本計画を推進していくために嘉麻市 DX 推進本部や嘉麻市デジタル推進協議会を設置しています。DX 推進本部を初めとして、実施部門である各 PT が主体的に取り組みながら、各庁内関連部門と連携・協力していきます。



※デジタル推進の担い手は、カマデジの各計画を実行する関係者（市職員、市内の事業者、市民の皆さん）を指します。



I. 嘉麻市 DX 推進本部

本市の経済発展と社会課題解決を両立する Society5.0 社会の実現を目指し、近年、自治体をとりまく環境の激しい変化に対応し、デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させるとともに、業務効率を図り、行政サービスの更なる向上につなげるためのデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進するため嘉麻市 DX 推進本部を設置しています。

次に掲げる事項について総合的検討を行い、方向性を決定し、推進していきます。

1 DX による庁内業務の改善に関する事項

2 DX による市民サービス向上に関する事項

3 その他 DX 推進に関する事項

各アクションを実行するために8つのPT（プロジェクトチーム）を設置し、アクションプランを推進していきます。各PTはPT同士や各課との綿密な連携をすることで、作業時間の効率化や複雑な課題の解決、新しいアイデアの創出を目指し推進していきます。

PT（プロジェクトチーム）

①デジタル推進計画PT

- デジタル推進計画策定検討

②市民サービス向上PT

- オンライン申請推進、普及促進
- マイナンバーカード普及促進
- オープンデータ促進

③庁内業務改善PT

- 行政手続きオンライン化
- システム標準化推進
- 働き方改革

④電子決裁・ペーパーレスPT

- 電子決裁（文書）
- 電子決裁（財務会計）
- 電子決裁（人事給与）
- ペーパーレス等事務改善

⑤安心安全デジタル推進PT

- 防災デジタル推進
- 土木、農林、水道等、事業課デジタル推進
- GIS 統合検討

⑥子育て・教育デジタル推進PT

- 子育て、教育デジタル推進

⑦HP・SNS等広報活用PT

- 嘉麻市 HP 整理、チャットボット整理
- SNS 整理

⑧デジタル促進職員PT（U36）

- デジタル促進
- 庁内デジタルルール作成

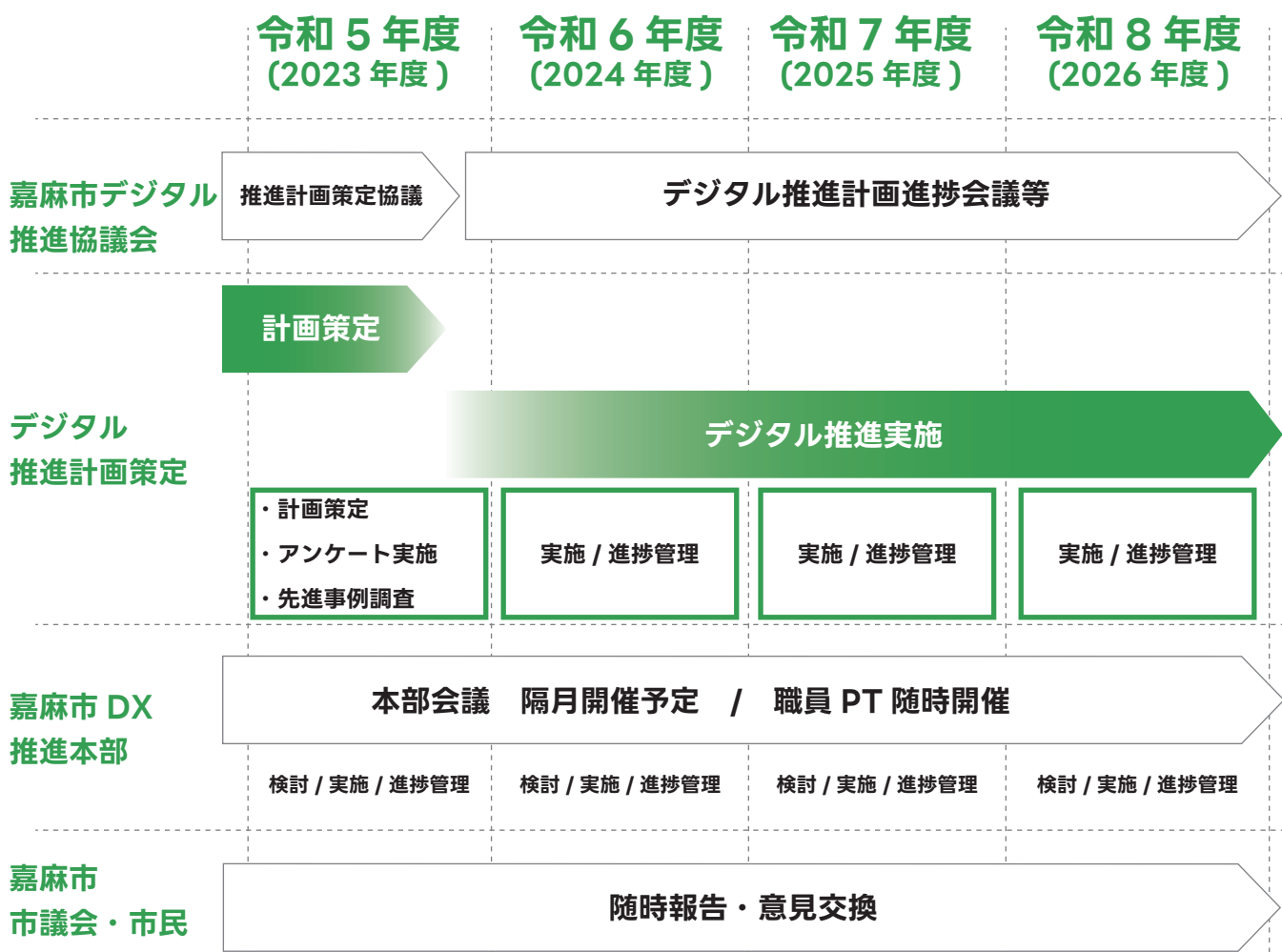
III. 嘉麻市デジタル推進協議会について

嘉麻市デジタル推進計画及びデジタル推進等に関する事項について、適切に調査審議するため、「嘉麻市デジタル推進協議会」を設置し、協議を行います。協議会の設置にあたり公募委員を募集し、12名の方で構成されており、幅広い年代や様々な職業の方々がメンバーとなっています。

IV. 各組織のスケジュール

デジタル推進計画は令和9年3月までとし、市内及び市役所内のデジタル化を推進していきます。また、デジタル技術は常に進歩しており、新たなツールやプラットフォーム、技術が次々と開発されるため、それらを活用するためにアクションプラン等は適時に見直していきます。同時に市職員のITリテラシー向上のために定期的な研修会等も実施します。

嘉麻市デジタル推進協議会は、計画策定後におきましても、当該計画の進捗管理を行うと共に、その他デジタル化の推進等に関し、調査及び審議を行います。また、市民の皆様にも定期的な進捗の報告や意見を収集する機会を設定し、市民の皆様と一体となって計画をアップデートしていきます。



第 5 章 参考情報

用語解説

【A】AI (エーアイ)

人のような知的な情報処理を実現するソフトウェア（プログラム）のこと。

AI-OCR (エーアイ オーシーアール)

OCR 技術と AI 技術を掛け合わせることで、帳票の読み取り精度の向上、手書きの文字列や非定型フォーマットの文書の認識を可能としたものこと。

【B】BPR (ビーピーアール)

「ビジネスプロセス・リエンジニアリング (Business Process Re-engineering)」の略称で、プロセスの観点から業務フローや組織構造、情報システムなどを再構築し、業務改革すること。

【C】CIO (シーアイオー)

組織内の情報戦略のトップとして情報の取り扱いや情報システム、情報技術 (IT) について統括する役員や責任者のこと。

【D】DX (ディーエックス)

「Digital Transformation (デジタルトランスフォーメーション)」の略称です。「進化したデジタル技術を活用し、ビジネスだけでなく人々の生活をより良い状態へ変革する」といった概念のこと。

【E】EBPM (イービーピーエム)

(1) 政策目的を明確化させ、(2) その目的のため本当に効果が上がる行政手段は何かなど、当該政策の拠って立つ論理を明確にし、これに即してデータ等の証拠を可能な限り求め、「政策の基本的な枠組み」を明確にする取組のこと。

【G】GIS (ジーアイエス)

GIS (ジー アイ エス) とは、Geographic Information System の略称で日本語では「地理情報システム」と表現され、地理情報をコンピューターの地図上 (デジタルマップ) に可視化して、情報の関係性、パターン、傾向をわかりやすいかたちで導き出すことが出来ます。

GX (ジーエックス)

「グリーントランスフォーメーション (Green Transformation)」の略称です。従来の化石燃料中心の経済・社会、産業構造を、クリーンエネルギー中心に移行させ、経済社会システム全体の変革を目指すこと。

【I】ICT (アイシーティー)

インターネットやパソコンなどの情報通信機器を用いて行うコミュニケーションを実現する技術のこと。SNS やメール、チャット、Web 会議システムなど。

IoT (アイオーティー)

さまざまな「モノ」に通信機能を持たせて、相互通信できるようにする技術のこと。自動認識や自動制御、自動測定などができるようになります。

【L】LGWAN (エルジーワン)

「Local Government Wide Area Network」の略で、地方公共団体を相互に接続するネットワークのこと。クラウド環境のネットワークシステムであり、地方自治体間での情報交換を目的に導入されています。

【O】OCR (オーシーアール)

「Optical Character Recognition : 光学的文字認識」の略称で、紙書類をスキャンして電子化した画像データや PDF から文字を抽出・認識し、テキストデータに変換する技術のこと。

【P】PDF (ピーディーエフ)

「Portable Document Format (ポータブル・ドキュメント・フォーマット)」の略で、Adobe (アドビ) が開発したファイル形式のこと。PDF は文書を紙に印刷したときと同じレイアウトで保存でき、PC やスマホなど、どんな環境で開いても基本的に同じように表示できるのが特長。

【R】RPA (アールピーエイ)

「Robotic Process Automation」の頭文字を取ったものです。PC 上で行う操作をロボットにより自動化できます。

【S】SNS (エスエヌエス)

Social Networking Service (ソーシャルネットワーキングサービス) の略称。SNS は、サービスに登録した利用者同士が交流でき、インターネット上で人と人とが繋がれるような仕組みのこと。

Society5.0 (ソサイエティー 5.0)

Society5.0 とは、フィジカル空間 (現実空間) とサイバー空間 (仮想空間) を融合させたシステムによって、社会的な課題の解決と経済発展を両立させるための新たな社会のこと。

【W】Web (ウェブ)

世界中に広がっているコンピュータネットワーク (インターネット) 上で様々な情報をユーザーに提供するシステムのこと。

Wi-fi (ワイファイ)

スマホやパソコン、タブレット、ゲーム機、プリンターなどを無線で接続する技術のこと。

用語解説

【あ】アクションプラン

目標を達成するためのプロセスを具体的なタスクに切り分け、リストアップしたもの。

アプリケーション

OSの上で動作するよう特定の目的をもって開発された専用のプログラムのこと。

インターネット

世界中のコンピュータ同士を繋ぐネットワークのこと。

オープンデータ

公開されていて誰でも使えるデータのこと。

オープンデータ・バイ・デザイン

個人情報保護の仕組みをシステムやサービスの企画時点で設計し、組み込んでおくこと。

オンライン

インターネットに繋がっている状態のこと。

【か】介護予防 DX

介護現場に AI・IOT・ICT のデジタル技術を取り入れ、介護業務のワークフローを変革し、利用者と職員を笑顔にすること。

基幹システム

企業経営の主要な業務（基幹業務）を支えるシステムのこと。

クラウドコンピューティング

インターネットなどのコンピュータネットワークを経由して、コンピュータ資源をサービスの形で提供する利用形態のこと。

公開型 GIS

インターネット経由での GIS の利用を可能にするシステムのこと。

公衆無線 LAN

公共の場で不特定多数が利用できるフリー Wi-Fi のこと。

コワーキングスペース

さまざまな年齢、職種、所属の人たちが空間を共有しながら仕事を行うスペースのこと。

コンビニ交付サービス

マイナンバーカードに入っている利用者証明用電子証明書（4桁の暗証番号）を利用して、全国のコンビニエンスストア等に設置されたキオスク端末（マルチコピー機）で、住民票の写しなど各種証明書の交付を受けることができるサービスです。

コンピュータウイルス

第三者によって意図的に被害を及ぼすように作られたプログラムのことで、自己伝染機能・潜伏機能・発病機能のうち1つ以上を有するもの。

【さ】三層の対策

インターネット分離や Web 分離、ネットワーク分離と同様に、業務に利用するデータの保管やシステムの構築されている領域と実際にサービスを提供する部分の領域、または外部インターネットとの接続を分離してセキュリティ性を高める仕組みや考え方のこと。

情報システム標準化・共通化

各自治体の情報システムを定められた統一基準に適合させ、すべての地方公共団体が、2025年度までガバメントクラウド上に構築された標準準拠システムへ移行することを目標としている。

スマート行政

“行政サービスの需要サイド”から住民・企業等にとっての利便性を向上させるものであり、“行政サービスの供給サイド”から自治体の人的・財政的負担を軽減させるもの。

スマート農業

ロボット技術や情報通信技術 (ICT) を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現する等を推進している新たな農業のこと。

総務省自治体 DX 推進計画

「デジタル・ガバメント実行計画」における各施策について、自治体が重点的に取り組むべき事項や内容を具体化し、総務省および関係省庁による支援策などをとりまとめたもの。

ソフトウェア

コンピュータを動かせるためのプログラム（に関する事柄）の総称。

【た】第4次産業革命

18世紀の最初の産業革命以降の4番目の主要な産業時代を指す。

用語解説

タブレット端末

コンピュータ製品の分類の一つで、板状の筐体の片面が触れて操作できる液晶画面（タッチパネル）になっており、ほとんどの操作を画面に指を触れて行うタイプの製品のこと。

チャットボット

ユーザーの質問にリアルタイムで回答を返すシステムの中で、Web サイトや EC サイトでのカスタマーサポートなどに用いられる。

データ駆動型社会

データを元に次のアクションを決めたり、意思決定を行ったりすること。

デジタルガバメント

デジタル技術を活用しながら行政サービスを見直し、国が抱える社会問題の解決や経済成長を実現するための改革のこと。

デジタルデバイド

ICT（情報通信技術）の活用機会や活用能力の有無によって生じる、社会的および経済的な格差のこと。

テレワーク

情報通信技術（ICT）を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のこと。「tele = 離れた所」と「work = 働く」をあわせた造語

電子市役所

いろいろな申請、届出などがインターネットを使って市役所に行かなくても手続きできる。

電子化

本・書類・チケット・カルテなど、今まで主に紙媒体で利用していたものを電子データに置き換えること。

統合型 GIS

地方公共団体が利用する地図データのうち、複数の部局が利用するデータ（例えば道路、街区、建物、河川など）を各部局が共用できる形で整備し、利用していく庁内横断的なシステム。

ネットワーク

一般的に「網」を意味する英単語が語源で、人やモノをつないで情報や資産を互いに共有しあっている状態のこと。

パーソナライゼーション

顧客一人ひとりのニーズやライフスタイルに合わせて、提供する情報やサービスを最適化するマーケティング手法のこと。

【な】光ファイバー

インターネット上の情報を伝送するための繊維のことで、主に光回線の回線部分に使用されているため、光ファイバー≒「光回線」と表せる。

【は】ビジネスモデル

利益を生み出す製品やサービスに関する事業戦略と収益構造を示す用語のこと。

ビッグデータ

分析により経済的価値を生みだせる、あらゆる形式で増え続ける大量のデータのこと。

ぴったりサービス

国が運営する「マイナポータル」のサービス検索・電子申請機能のことでマイナンバーカードを利用し、各種手続きをオンラインで行えるサービスのこと。

プッシュ型

英語「Push（押す）」の意味から、ユーザーの興味や意思に関係なく、半強制的に情報を発信する技術やサービスのこと。

【ま】マイナンバー

行政を効率化し国民の利便性を高め公平公正な社会を実現する社会基盤のこと。

マイナポータル

子育てや介護など、行政手続のオンライン窓口です。オンライン申請のほか、行政機関等が保有するご自身の情報の確認や、行政機関等からのお知らせ通知の受信などのサービスを提供している。

マイナンバー利用事務系

マイナンバー（個人番号）を使って、番号法別表第一や条例で定める行政事務を処理する国の行政機関、地方公共団体、独立行政法人などのこと。

【ら】レセプト

病院が健康保険などの報酬を公的機関に請求するために提出する書類のこと。

【わ】ワーケーション

「ワーク」と「バケーション」を組み合わせた造語で、観光地やリゾート地でテレワークを活用しながら、働きながら休暇をとる過ごし方。

デジタルおさらいクイズ

Q1. 嘉麻市のスマートフォン普及率は？（令和5年8月調べ・対象3000人）

1. 52%
2. 69%
3. 77%
4. 83%

Q2. 嘉麻市のデマンドバス認知率は？（令和5年8月調べ・対象3000人）

1. 6%
2. 11%
3. 18%
4. 23%

Q3. 嘉麻市の掲げる「すべての人にやさしいデジタル推進の3本柱」。

「暮らし」「しごと」とあとひとつは？

1. がっこう
2. やくしよ
3. ぎょうせい
4. のりもの

Q4. 「すべての人にやさしいデジタル推進の3本柱」ビジョンを達成するためのアクションプランはいくつ？

1. 30
2. 40
3. 50
4. 60

Q5. 嘉麻市のデジタル推進計画はいつまで？

1. R6年度
2. R7年度
3. R8年度
4. R9年度

Q6. 嘉麻市のR5年1月時点でのマイナンバーカード所有率は62%です。R8年度までに目指しているマイナンバーカード普及率は？

1. 75%
2. 80%
3. 85%
4. 90%

Q7. 嘉麻市のLINE公式アカウントで目指すお友達数は？

1. 5,000人
2. 10,000人
3. 15,000人
4. 20,000人

Q8. コンビニで電子申請するときの注意事項は？

1. マイナンバーカードの暗証番号を覚えていく
2. マイナンバーカードは持ち歩くと危険なので家においていく
3. 免許証を持っていく
4. メモ用紙をもっていく

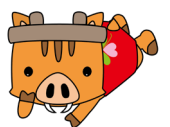
Q9. 「かまバス」の利用方法で誤っているのは？

1. 利用者1人でも運行される
2. 事前に専用アプリ（または電話）で予約する
3. 乗降場所は自由に決められる
4. 地区をまたぐ乗車でも料金は変わらない

答えは嘉麻市
デジタル戦略課 HP へ

Q10. 嘉麻市が環境に配慮するために取組んでいるアクションプランはどれ？

1. 行政事務のペーパーレス化推進
2. 暮らしの各種手続きをオンライン化拡充
3. 生成AIの利活用促進
4. 職員の情報リテラシー向上



推進協議会メンバーからのメッセージ

本計画を推進していくために嘉麻市デジタル推進協議会を設置しています。多様な 12 名のメンバーで何度も協議を重ねてまいりました。嘉麻市デジタル推進協議会代表として会長と副会長よりこの計画にかける熱いメッセージを頂きました。



会長 川原 憲治

全国各自治体において市民の利便性の向上や行政の業務効率化を目的とした「デジタル化」が推進されております。嘉麻市では自然豊かな広範な地域に点在するかたちで市民の生活が営まれ、その特色を生かし将来の発展を考慮したデジタル推進計画が進行しております。協議会では委員 12 名により本計画の立案や遂行に対する助言等を通して市民の皆様のご要望が反映されるよう積極的に活動して参る所存でございます。



副会長 高松 美紀

嘉麻市デジタル推進計画の策定にあたり、子どもからお年寄りまでが抵抗なくデジタル技術を利用していただくために何度も協議を重ねてまいりました。デジタル技術をうまく活用することで、今後「嘉麻市」が住みやすい笑顔あふれる魅力あるまちとなることを願っています。まだまだ、身近に感じる事ができていないデジタル技術にみなさんも触れてみませんか？この冊子をデジタル推進の「辞書」としてご活用いただければ幸いです。

嘉麻市デジタル推進協議会条例

(設置)

第1条 嘉麻市におけるデジタル化の推進、施策等の調査審議をするため、地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定に基づき、嘉麻市デジタル推進協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 協議会は、市長の諮問等に応じ、次に掲げる事項について調査し、及び審議する。

- (1) 嘉麻市デジタル推進計画に関する事項
- (2) その他デジタル化の推進等に関し、市長が特に必要と認める事項

(組織)

第3条 協議会は、委員12人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 識見を有する者 1人以内
- (2) 公共的団体等が推薦する者 9人以内
- (3) 市民からの公募による者 2人以内

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けたときの補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員が、委嘱されたときにおける当該身分を失った場合は、委員を辞したものとみなす。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に、会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(庶務)

第6条 協議会の庶務は、主管課において処理する。

(委任)

第7条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(嘉麻市地域情報化推進協議会条例の廃止)

2 嘉麻市地域情報化推進協議会条例(平成27年嘉麻市条例第4号)は、廃止する。

嘉麻市デジタル推進協議会条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、嘉麻市デジタル推進協議会条例(令和4年嘉麻市条例第75号)第7条の規定に基づき、嘉麻市審議会等の会議及び会議録の公開に関する規程(平成22年嘉麻市告示第131号)に定めるもののほか、嘉麻市デジタル推進協議会(以下「協議会」という。)の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(会議)

第2条 会議は、会長が招集し、会長が会議の議長となる。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 前項の場合において、議長は、委員として議決に加わることができない。

5 会長及び副会長とともに事故があるとき又は会長及び副会長がともに欠けたときは、市長が会議を招集する。

(招集通知)

第3条 会長は、会議を招集しようとするときは、あらかじめ会議開催の日時、場所及び付議事件を委員に通知しなければならない。

(関係者の出席等)

第4条 協議会は、必要に応じ関係者及び専門的知識を有する者等に会議への出席及び資料提出等の協力を依頼することができる。

(委任)

第5条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(嘉麻市地域情報化推進協議会条例施行規則の廃止)

2 嘉麻市地域情報化推進協議会条例施行規則(平成30年嘉麻市規則第54号)は、廃止する。

推進協議会委員

区分	団体名	氏名	備考
1号委員	九州工業大学	川原 憲治	会長
2号委員	嘉麻市P T A連合会	高松 美紀	副会長
	嘉麻・桂川地区保育協会	岡本 洋子	
	嘉麻市商工会	有光 勇樹	
	嘉麻商工会議所	室井 秀行	
	かま男女共同参画推進ネットワーク	長野 美津子	
	嘉麻市民生委員児童委員協議会	原田 景子	
	社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会	角 ちひろ	
	嘉麻市教育委員会	松岡 瞳子	
	嘉麻市観光まちづくり協会	田中 民子	
3号委員	公募委員	山口 希代子	
	公募委員	大塚 樹里	

区分別、順不同、敬称略

集合写真

推進協議会経緯

回	期日	内容
第1回	令和5年2月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・会長及び副会長専任 ・諮問 ・スケジュールについて ・その他
第2回	令和5年3月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル推進に関する報告 ・嘉麻市デジタル推進に関するアンケート（案） ・嘉麻市デジタル推進計画策定に伴うPTの検討事項について ・その他
第3回	令和5年4月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・電子申請（ぴったりサービス）について ・嘉麻市デジタル推進計画策定業務委託進捗状況 ・嘉麻市デジタル推進に関するアンケート（案） ・嘉麻市デジタルまつり（案）について ・かまししちゃんアプリについて ・嘉麻市デジタル推進計画基本方針等について
第4回	令和5年6月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・嘉麻市デジタル推進計画策定業務委託業者について ・嘉麻市デジタル推進に関するスケジュール等 ・嘉麻市デジタルまつり企画書（案）について ・嘉麻市地域デジタル化促進事業支援補助金募集要項（案）について ・嘉麻市デジタル推進計画基本方針等（案）について ・嘉麻市デジタル推進に関するアンケート（案）
第5回	令和5年7月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・嘉麻市デジタル推進に関するアンケートについて ・嘉麻市デジタルまつりについて ・嘉麻市デジタル推進計画基本方針等（案）について
第6回	令和5年8月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・嘉麻市デジタル推進に関するアンケート進捗状況について ・嘉麻市デジタルまつりについて ・嘉麻市デジタル推進計画基本方針等（案）について ・嘉麻市デジタル推進計画アクションプラン（案）について
第7回	令和5年9月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・嘉麻市デジタル推進に関するアンケート結果について ・嘉麻市デジタルまつりについて ・嘉麻市デジタル推進計画（案）について
第8回	令和5年10月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・嘉麻市デジタル推進計画（骨子案）パブリックコメントについて ・嘉麻市デジタル推進計画アクションカルテ（案）について ・嘉麻市デジタル推進計画イラスト（案）について
第9回	令和5年11月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・嘉麻市デジタル推進に関するアンケートについて ・嘉麻市デジタル推進計画（骨子案）に関するパブリックコメント結果
第10回	令和5年12月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・嘉麻市デジタル推進に関するアンケートについて ・今後のスケジュールについて ・嘉麻市デジタル推進計画本編（案）について
第11回	令和5年12月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・答申

参考情報

デジタルに関する関係機関

- ・ 嘉麻市デジタル戦略課
<https://www.city.kama.lg.jp/soshiki/42/>
- ・ 嘉麻市電子申請手続一覧
<https://logoform.jp/procedure/LTwc/onlineichiran>
- ・ 総務省（自治体デジタルトランスフォーメーション推進計画）
https://www.soumu.go.jp/denshijiti/index_00001.htm
- ・ 福岡県 DX 戦略
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryo/dxstrategy.html>
- ・ デジタル庁
<https://www.digital.go.jp/>
- ・ デジタル田園都市国家構想総合戦略
<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digitaldenen/sougousenryaku/index.html>
- ・ 嘉麻市議会
<https://www.youtube.com/channel/UCQrQtmelaMdL7afSX6EpT5Q>



嘉麻市公式 LINE は
こちらから



福岡県嘉麻市【公式】
YouTube



福岡県嘉麻市【公式】
(@KamaCityKoshiki) · X



嘉麻市デジタル戦略課
(@DigixKama) · X



カマデジを最後まで読んでいただきありがとうございます。
カマデジはこれからがスタートです。

カマデジは、まだはじまりにすぎません。

ちいさなことがたくさん積み重なり、いろんなことが形になってようやくカマデジの価値が生まれるのです。

そのためには、一人一人が自分事のように考え、さまざまな境遇を乗り越え、協力し合うことが重要です。

その結果・・・

カマデジが、デジタルと人、自然が融合するまちになるための一つの転機となることでしょう。

みんなでアクションをおこそう！

#カマデジ



嘉麻市デジタル推進計画

発行日 / 令和6年●月

編集 / 嘉麻市デジタル戦略課

〒820-0292 福岡県嘉麻市岩崎 1180 番地 1

TEL : 0948-42-7420 Mail : digital@city.kama.lg.jp